Panasonic

取扱説明書

MPEG2ソフトウェアデコーダー

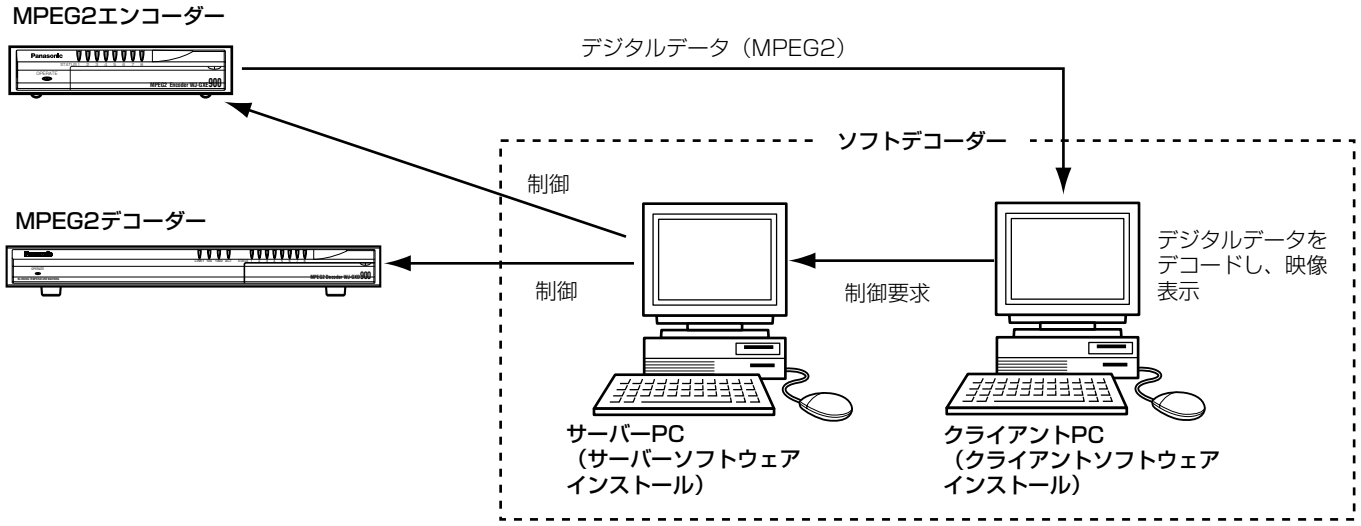
品番 WV-AS900

このたびは、MPEG2ソフトウェアデコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書（PDFファイル）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

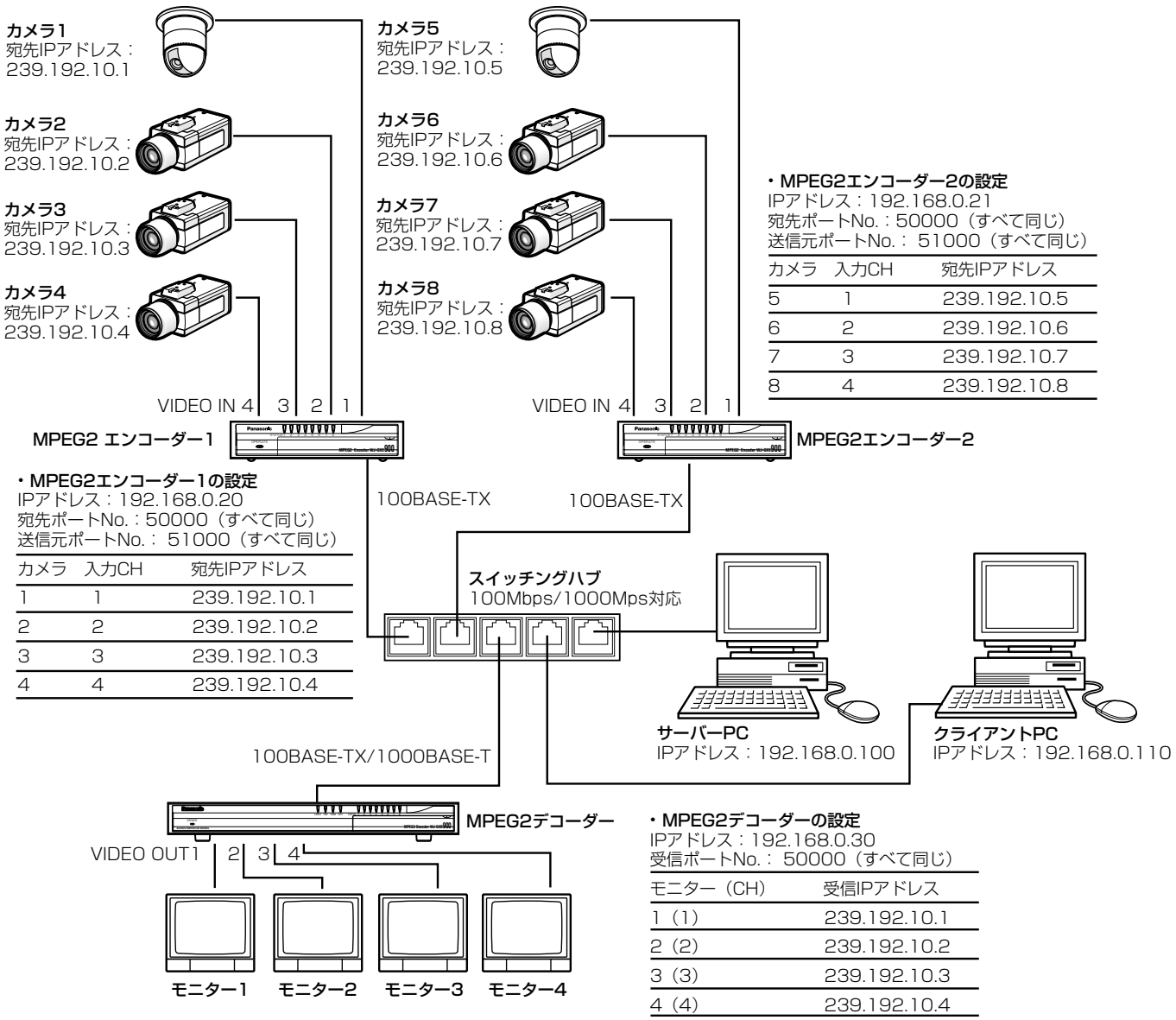
商品概要

MPEG2画像配信システム（以下、システム）は、LAN（Local Area Network）などのネットワークに、カメラの映像を動画で配信するシステムです。本システムは、映像（NTSC）をデジタルデータ（MPEG2）に変換するMPEG2エンコーダー（以下、エンコーダー）と、デジタルデータ（MPEG2）を映像に変換するMPEG2デコーダー（以下、デコーダー）で構成されます。
WV-AS900 MPEG2ソフトウェアデコーダー（以下、ソフトデコーダー）は、パーソナルコンピューター（以下、PC）にインストールされ、エンコーダーから送信されるデジタルデータ（MPEG2）をデコードし、PCの画面上に映像を表示することができます。
ソフトデコーダーは、Microsoft® Internet Explorer上に映像を表示させるMPEG2プラグインモジュール（クライアントソフトウェア）と、エンコーダー・デコーダーの制御を行うサーバーソフトウェアで構成されています。サーバーソフトウェアがシステム全体の情報を管理し、クライアントソフトウェアから要求された制御を実行します。サーバーソフトウェアはクライアントソフトウェアからの要求に従って、エンコーダーとクライアントソフトウェアの関連づけを行い、エンコーダーからのデジタルデータ（MPEG2）をデコードし、映像を表示します。



システムの構成

以下のイラストは、カメラ8台、モニター4台でのシステム構成例です。



- 本システムは、TCP/IPおよびUDP/IPプロトコルを採用しています。これらのプロトコルをサポートしているネットワークに接続することができます。
- エンコーダーは100Base-TX、デコーダーは100Base-TXまたは1000Base-Tのネットワークを通じて、映像、音声、制御データを送受信できます。

重要！

マルチキャスト配信の場合、すべてのエンコーダーの宛先ポートNo.を同じ値にしてください。エンコーダーの宛先IPアドレスは、エンコーダー後面のVIDEO INの端子番号ごとに異なる値を設定してください。

補足

映像の切り換えが頻繁に行われるようなシステム構成の場合は専用のサーバーを用意してください。

商品の特長

- エンコーダーに接続されている当社のコンビネーションカメラを制御できます。
- デコーダーに接続されているモニターへのカメラの入力CHを切り換えることができます。
- エンコーダーからのアラーム通知に連動して、指定したモニターやPCの画面にアラーム発生場所のカメラの映像を表示するよう設定することができます。
- PCの画面やモニターに、あらかじめ設定した順序でカメラの映像を自動的に切り換えて（シーケンス）表示することができます。

対象読者について

本書はネットワーク管理者を対象に説明しています。
本システムを操作するためには、ネットワークに関する専門知識が必要です。本書をお読みになる前にネットワークに関する知識を修得されることをお勧めします。

必要なPCの環境

ソフトデコーダーの設定・操作は、以下の環境を持つPCで可能です。

サーバー PC（サーバーソフトウェアがインストールされたPC）

CPU	Intel® Celeron® 2 GHz 以上
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版
	Microsoft® Windows® XP Professional SP1a 日本語版
メモリ	256 MB以上
ウェブサーバー	Microsoft® Internet Information Service 5.0
	Microsoft® Internet Information Service 5.1
ディスプレイ	1024 x 768以上の解像度
	High color(16ビット)以上の色数

クライアントPC（クライアントソフトウェアがインストールされたPC）

CPU	Intel® Pentium®4　2 GHz以上
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版
	Microsoft® Windows® XP Professional SP1a 日本語版
メモリ	256 MB以上
ウェブブラウザー	Microsoft® Internet Explorer 5.5SP2
	Microsoft® Internet Explorer 6.0SP1
ディスプレイ	1024 x 768以上の解像度
	High color(16ビット)以上の色数
Adobe® Reader®日本語版	本書を参照するために必要。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

※XGAのモニターでソフトデコーダーを使用する場合は、F11キーを押して、全画面表示にしてください。
※サーバーPCにクライアントソフトウェアをインストールする場合は、Pentium®4　2.6 GHz以上のCPUをお使いください。

ネットワーク環境についてのご注意

PCをオフィスLAN に接続する前に、接続するネットワークが最大9.2 Mbps のマルチキャストストリーム（4本）に対応しているか、ネットワーク管理者に必ず確認してください。確認しないでPCを接続すると、ネットワーク全体に障害が発生する場合があります。
本システムの操作は、PC のウェブブラウザーからhttp(Hyper Text Transfer Protocol)によるCGI（Common Gateway Interface） を利用して行います。
次の場合、PC のウェブブラウザーから操作できない場合がありますので注意してください。

- ネットワーク中にファイアウォール（ソフトウェアおよびハードウェア）、プロキシーサーバーなどを導入されている場合、CGIで操作できないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者に本システムが利用するポートNo.に対して、データを通過させるよう依頼してください。
- 操作するウェブブラウザーの設定によっては、CGI を利用できない場合があります。お使いになるウェブブラウザーの取扱説明書またはヘルプを参照し、CGI が利用できるように設定を変更してください。
- 同一ネットワーク内で2台以上のエンコーダーを使用する場合、映像ストリーミングデータ・音声ストリーミングデータの総ビットレート値が、帯域幅の60 %を超えないように設定してください（詳しくはエンコーダーの取扱説明書をお読みください）。

商標および登録商標について

- Microsoft , Windows、Windows XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel 、インテル、Pentium、Celeron は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、AdobeロゴおよびAcrobatは、Adobe System Incorporated(アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版をWindows2000と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP1a 日本語版をWindows XPと表記しています。

著作権について

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

この製品は、盗難などを未然に防止するものではありません。
製品の仕様はお断りなく変更になる場合があります。

用語について

マルチキャスト
単一のパケットで複数のPCに同一のデータを送信する通信方式。複数のPCで同じカメラの映像を見る場合に使用します。

ユニキャスト
特定のPCにのみデータを送信する通信方式。特定のPCでのみカメラの映像を見る場合に使用します。

もくじ

はじめに

商品概要 2
システムの構成 3
商品の特長 4
対象読者について 4
必要なPCの環境 4
ネットワーク環境についてのご注意 5
商標および登録商標について 5
略称について 5
著作権について.....5
免責について 6
用語について 6

準備

PCのネットワーク設定を行う 10
インターネットインフォメーションサービス（IIS）をインストールする 13
ソフトデコーダーをインストールする 15
IISの設定を行う 19
ログインする 21
操作画面について 23
トップページ 23
［映像選択］タブ 24
［シーケンス］タブ 24
［セットアップ］タブ 25
ステータス表示部 26
カメラ制御部 27
初めて操作するときに必要なセットアップについて ...28

セットアップ

セットアップメニュー一覧 29
セットアップメニューの表示のしかた 30
アラームに関する設定を行う［アラーム］ .32
アラーム発生時の動作を設定する［追加・削除］ 32
アラームの解除方法と日付時刻の表示形式を設定する［リセット・日時］ 34
トップページに表示するカメラ映像を設定する［映像］ 36
カメラの設定とプリセット登録を行う［カメラ］ 37
カメラの設定メニューを表示する［メニュー］ 37
プリセットポジションを登録する［プリセット］ 39
カメラとモニターを登録する［システム］ 40
カメラを登録する［カメラ］ 40
モニターを登録する［モニター］ 41
シーケンス動作を設定する［シーケンス］ 42
使用するユーザーを登録する［ユーザー］ 43
使用するエンコーダーを登録・削除する
［エンコーダー（GXE900)］ 45
エンコーダーを登録する［設定］ 45
エンコーダーを削除する［削除］ 47
使用するデコーダーを登録・削除する
［デコーダー（GXD900)］ 48
デコーダーを登録する［設定］ 48
デコーダーを削除する 50
システムの設定内容に関する設定［メンテナンス］ ...51
サーバーPCの設定内容を初期化する［初期化］ 51
エンコーダーの設定内容を更新する［エンコーダー］ 53
デコーダーの設定内容を更新する［デコーダー］ 55
サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を
確認する［エンコーダー（GXE900)］ 57
コントロールページを確認する 57
映像設定ページを確認する 58
音声設定ページを確認する 59

アラーム設定ページを確認する 60
ネットワーク設定ページを確認する 61
システム設定ページを確認する 62
サーバーPCに登録されているデコーダーの設定内容を確認する［デコーダー（GXD900)］ 63
コントロールページを確認する 63
映像設定ページを確認する 64
ネットワーク設定ページを確認する 65
システム設定ページを確認する 66

カメラ操作
メイン画面・サブ画面のカメラCHを切り換える 67
モニターにカメラ映像を表示する 68
カメラ映像の水平／垂直位置を調節する（パン／チルト） 69
カメラを自動的に回転させる（オートパン） 70
カメラ映像の焦点を調節する（フォーカス） 71
カメラの映像を拡大／縮小表示する（ズーム） 72
レンズの絞りを調節する（アイリス） 73
カメラの向きをプリセットポジションに移動する.....74
カメラの向きをホームポジションに移動する.....75
カメラの映像を自動的に切り換える（シーケンス） ...76

アラーム
アラーム発生時の動作について 78
アラーム動作を解除する 79
アラーム動作を抑止する 80
アラームの履歴を確認する 81

その他
エラーメッセージ一覧 82
故障かな!? 85

PCのネットワーク設定を行う

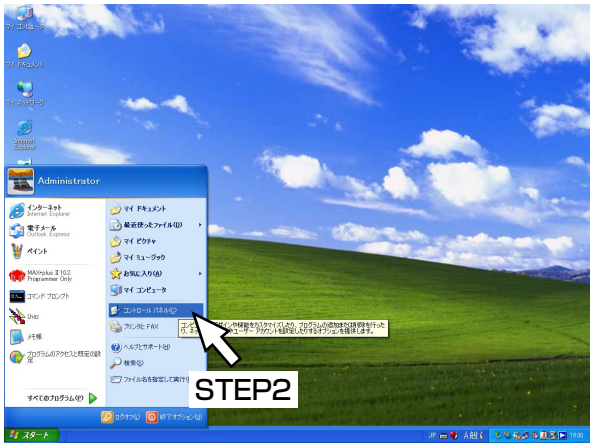
ソフトデコーダーをインストールするPCのTCP/IPの設定をエンコーダー、デコーダーの工場出荷時の状態に合わせて変更します。工場出荷時の設定は次のようになっています。

- エンコーダーのIPアドレス　：192.168.0.10
- デコーダーのIPアドレス　：192.168.0.11
- サブネットマスク（共通）　：255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ（共通）　：192.168.0.1

PCのIPアドレスは「192.168.0.XX（XXは1と10、11を除く2～254のうちのいずれか）」を設定します。
本書では、Windows XPの標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

画面1

PCを起動した直後の画面から操作します。



STEP1

お使いのWindows OSのCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

STEP2

スタート画面から「コントロールパネル」を選択します。

重要！
「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

画面2

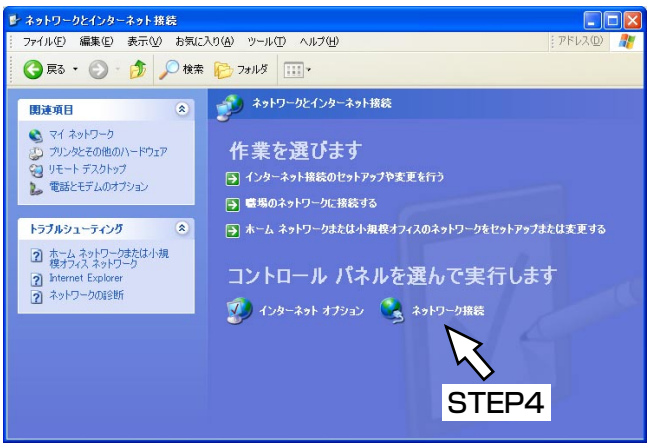
コントロールパネルが表示されます。

STEP3

「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

画面3

ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。



STEP4

［ネットワーク接続］をダブルクリックします。

画面4

ネットワーク接続画面が表示されます。

STEP5

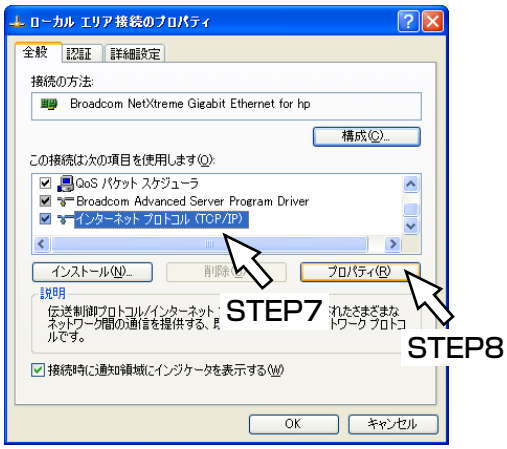
［ローカルエリア接続］をクリックします。

STEP6

［ネットワークタスク］ボックスの「この接続の設定を変更する」をクリックします。

画面5

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



STEP7

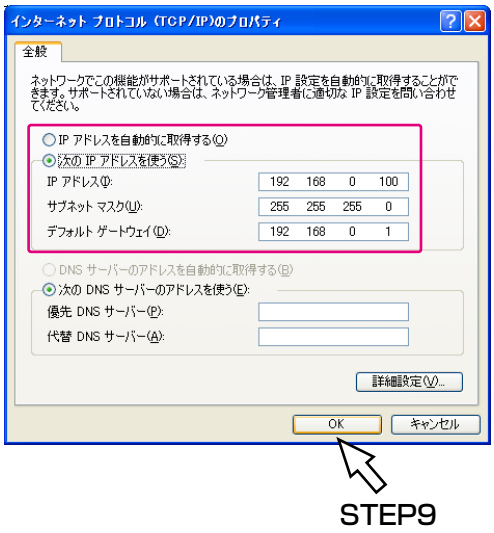
［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択します。

STEP8

［プロパティ］ボタンをクリックします。

画面6

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されます。



STEP9

STEP9

［次のIPアドレスを使う］を選択し、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を以下のように設定し、［OK］ボタンをクリックします。

IPアドレス　　：192.168.0.100
サブネットマスク　　：255.255.255.0

補足

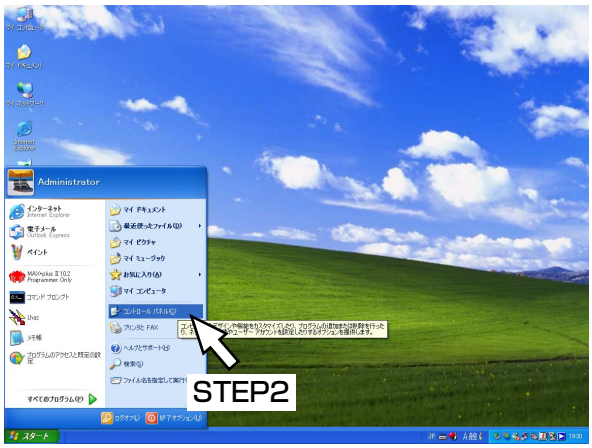
インターネットプロトコル（TCP/IP）の項目が表示されない場合は、OSの取扱説明書をご確認の上、インターネットプロトコル（TCP/IP）をインストールしてください。

インターネットインフォメーションサービス（IIS）をインストールする

ソフトデコーダーをインストールする前に、サーバーPCには、インターネットインフォメーションサービス（IIS）がインストールされている必要があります。Windows 2000 、Windows XPの標準の状態ではIISはインストールされていません。お使いのOS（Operating System）のCD-ROM を用意し、次の手順でインストールを行ってください。
本書では、Windows XPを例にインストール方法を説明します。その他のOSを使用している場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

画面1

PCを起動した直後の画面から操作します。



STEP1

お使いのWindows OSのCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

STEP2

スタート画面から「コントロールパネル」を選択します。

重要！
「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

画面2

コントロールパネルが表示されます。

STEP3

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

画面3

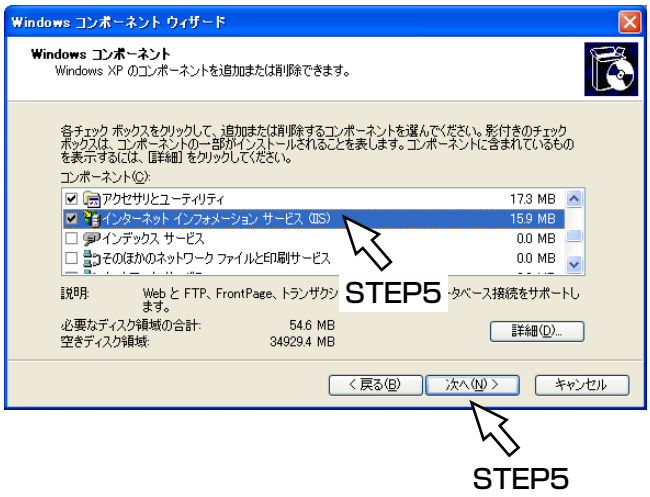
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

STEP4

「コンポーネントの追加と削除」をクリックします。

画面4

Windowsコンポーネントウィザードが表示されます。

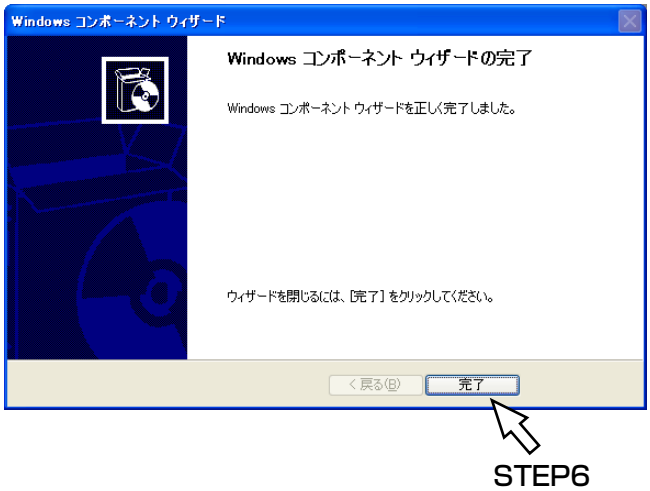


STEP5

「インターネットインフォメーションサービス(IIS)」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。
→インストールが開始されます。

画面5

インストールが完了すると、以下の完了画面が表示されます。



STEP6

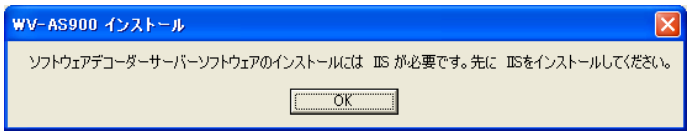
［完了］ボタンをクリックします。
→コントロールパネルに戻ります。

ソフトデコーダーをインストールする

IISがインストールされたら、ソフトデコーダーをインストールします。インストールはダイアログボックスの指示に従って操作します。

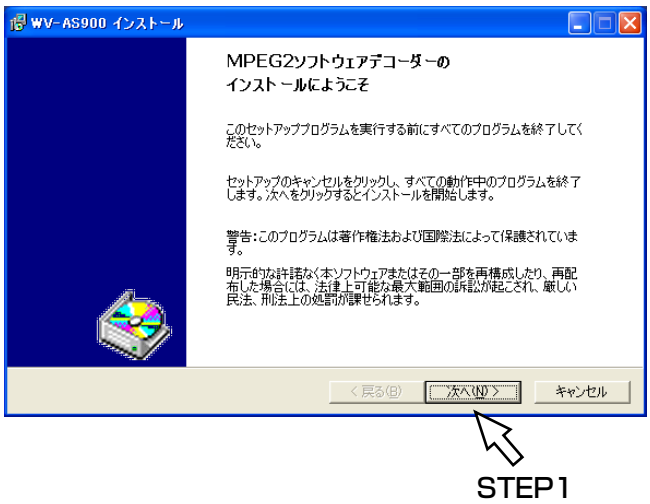
重要！

IISがインストールされていない状態でソフトデコーダーをインストールしようとすると、以下の画面が表示されます。ソフトデコーダーのインストールは、IISをインストールしてから行ってください。（☞13ページ）



画面1

ソフトデコーダーに付属されているCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。CD-ROMがPCへロードされると、インストーラーが自動的に起動し、以下の画面が表示されます。

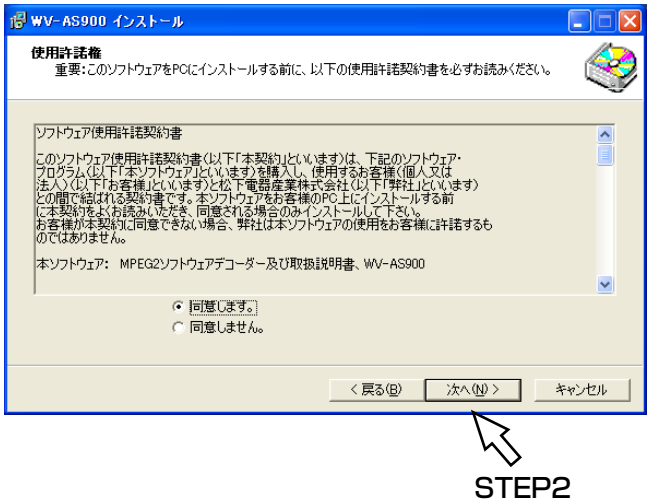


STEP1

画面の指示内容をよく読み、［次へ］ボタンをクリックします。

画面2

ライセンス規約の画面が表示されます。



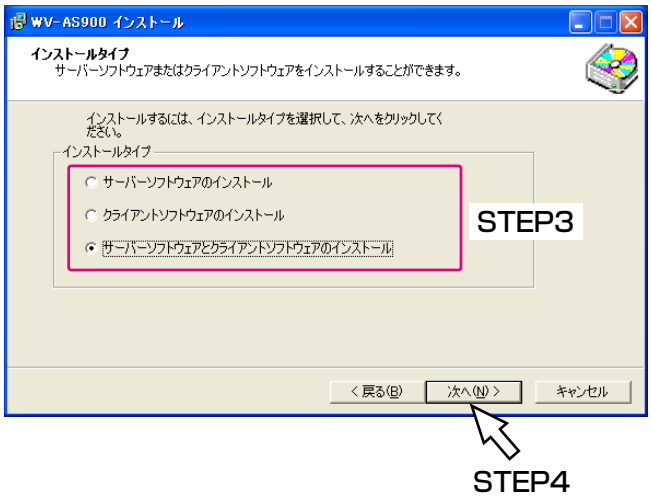
STEP2

使用許諾契約をよく読み、「ライセンス規約に同意します」にチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

ソフトデコーダーをインストールする（つづき）

画面3

インストールタイプの選択画面が表示されます。



STEP3

インストールタイプを選択します。

サーバーソフトウェアのインストール

：サーバーPCへサーバーソフトウェアをインストールします。

クライアントソフトウェアのインストール

：クライアントPCへクライアントソフトウェアをインストールします。

サーバーソフトウェアとクライアントソフトウェアのインストール

：サーバーPCへサーバーソフトウェアとクライアントソフトウェアの両方をインストールします。

補足

サーバーPC、クライアントPC、サーバーソフトウェア、クライアントソフトウェアについては2ページをお読みください。

STEP4

［次へ］ボタンをクリックします。

画面4

ユーザー情報の入力画面が表示されます。

STEP5

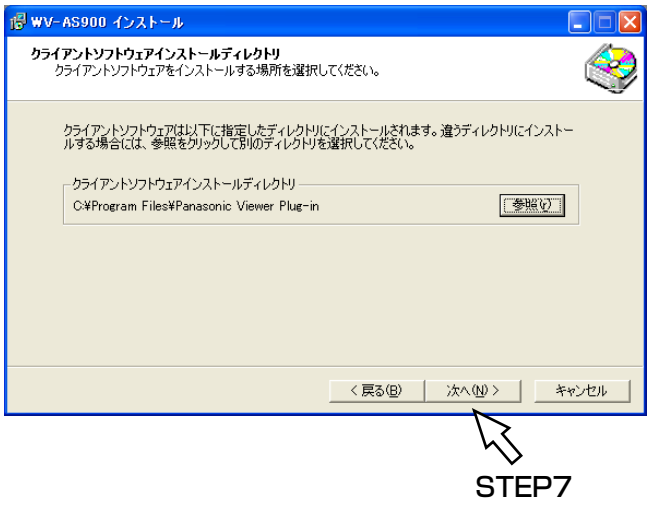
ユーザー名、会社名、コードキーを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

重要！

STEP2で「サーバーソフトウェアのインストール」を選択した場合、画面4は表示されません。画面6（サーバーソフトウェアのインストール先を選択する画面）が表示されます。（☞17ページ）

画面5

クライアントソフトウェアのインストール先を選択する画面が表示されます。



STEP6

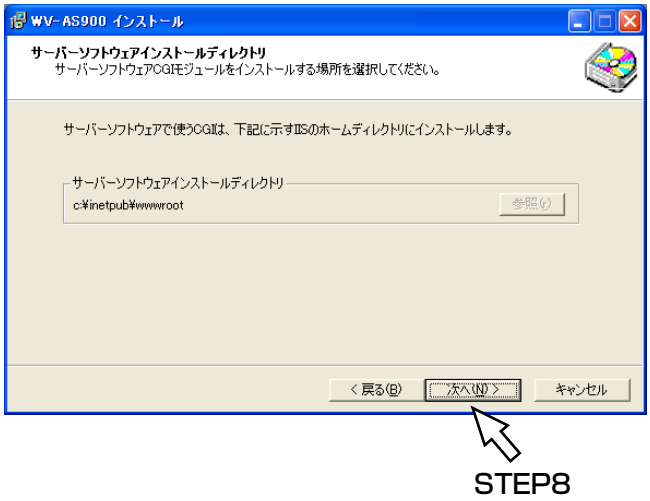
クライアントソフトウェアのインストール先を指定します。表示されたディレクトリとは別の場所へインストールする場合、［参照］ボタンをクリックして、ディレクトリを選択します。

STEP7

［次へ］ボタンをクリックします。

画面6

サーバーソフトウェアのインストール先を確認する画面が表示されます。



STEP8

サーバーソフトウェアのインストール先を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

重要！

STEP2で「クライアントプラグインビューアーのインストール」を選択した場合、画面6は表示されません。画面7（インストール準備完了の画面）が表示されます。

画面7

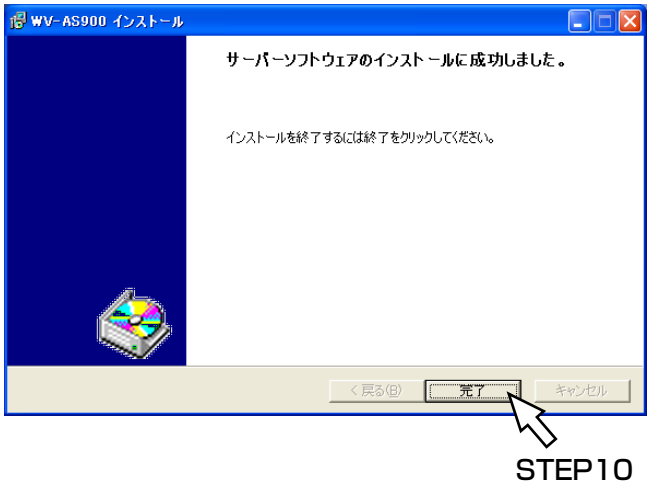
インストール準備完了の画面が表示されます。

STEP9

［次へ］ボタンをクリックします。
→インストールが開始されます。

画面8

インストールが完了すると、以下の完了画面が表示されます。

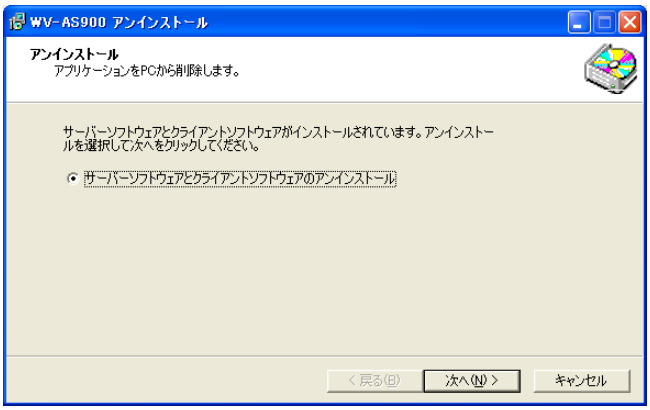


STEP10

［完了］ボタンをクリックします。
→インストールプログラムが終了します。

ソフトデコーダーをアンインストールするときは

ソフトデコーダーをアンインストールするときは、インストールと同様にソフトデコーダーに付属されているCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。CD-ROMがPCへロードされると、アンインストーラーが自動的に起動し、以下の画面が表示されます。



「サーバーソフトウェアとクライアントソフトウェアのアンインストール」にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。
以降、画面の指示に従って操作します。

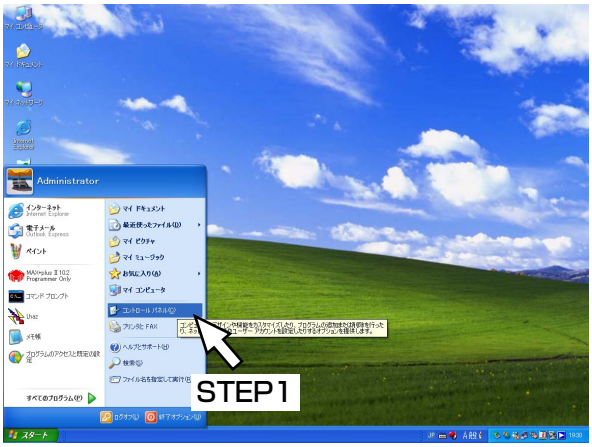
IISの設定を行う

ソフトデコーダーのインストールが完了したら、IISの設定を行います。

重要！
IISの設定はソフトデコーダーをインストールしてから行ってください。

画面1

PCを起動した直後の画面から操作します。



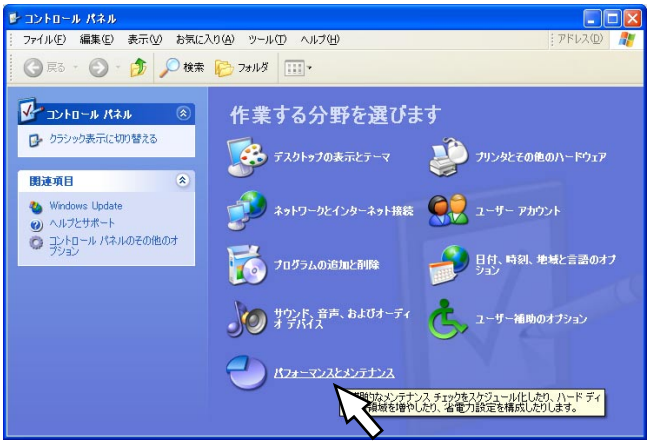
STEP1

スタート画面から「コントロールパネル」を選択します。

重要！
「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

画面2

コントロールパネルが表示されます。

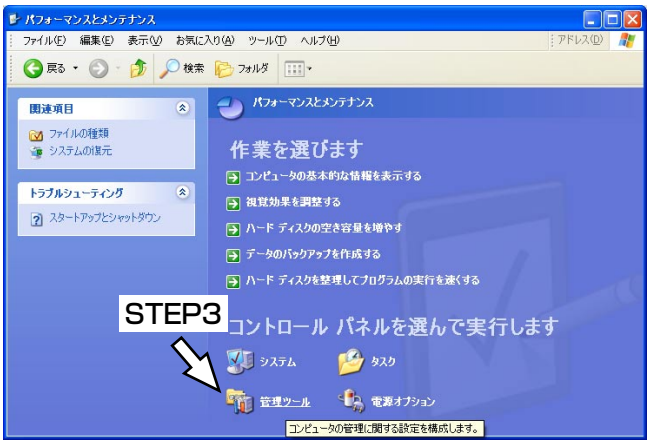


STEP2

「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。

画面3

「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。



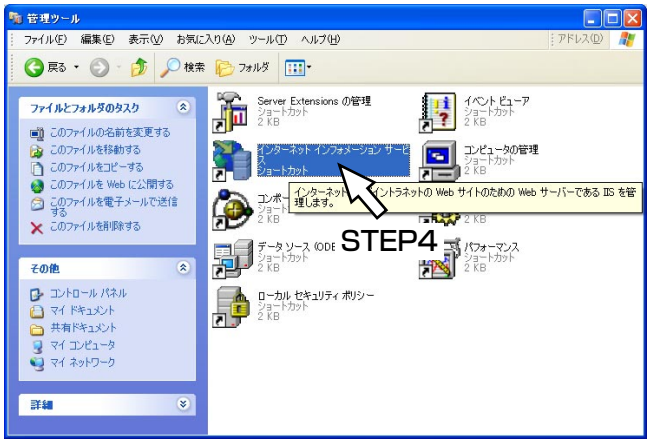
STEP3

「管理者ツール」をクリックします。

IISの設定を行う（つづき）

画面4

「管理ツール」画面が表示されます。

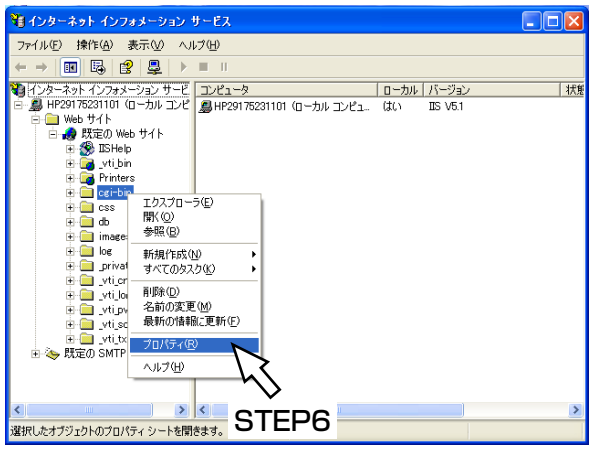


STEP4

「インターネットインフォメーションサービス」をクリックします。

画面5

「インターネットインフォメーションサービス」画面が表示されます。



STEP5

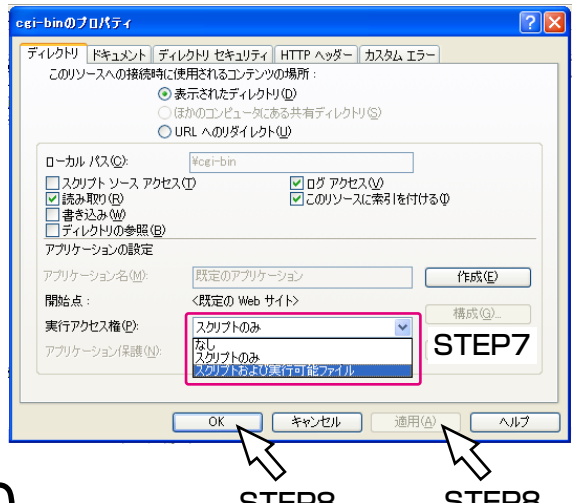
「インターネットインフォメーションサービス」のツリーを展開します。

STEP6

「cgi-bin」フォルダにカーソルを合わせ右クリックし、「プロパティ」を選択します。

画面6

「cgi-binのプロパティ」画面が表示されます。



STEP7

「ディレクトリ」タブの「実行アクセス権」を「スクリプトおよび実行可能ファイル」に設定します。

STEP8

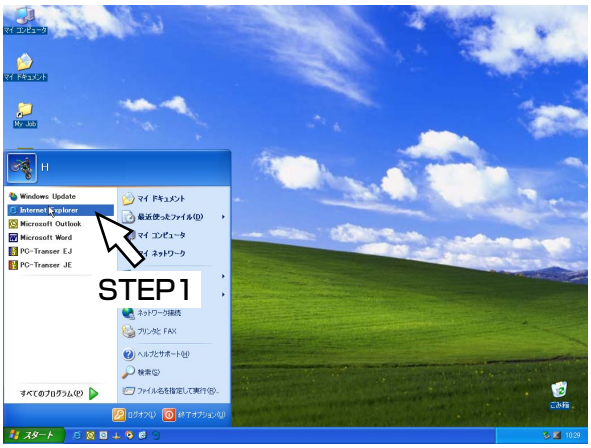
［適用］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

ログインする

PCを起動して、インストールされているウェブブラウザーから操作します。
ログインは以下の手順で行います。

画面1

PCを起動した直後の画面から操作します。

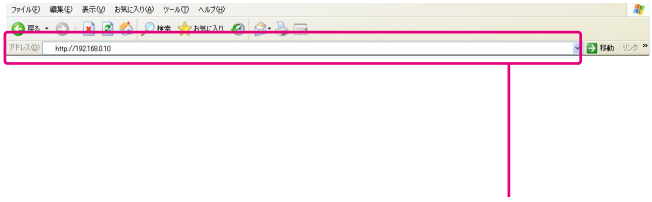


STEP1

ウェブブラウザーを起動します。

画面2

ウェブブラウザーが起動し、設定されているホームページが表示されます。



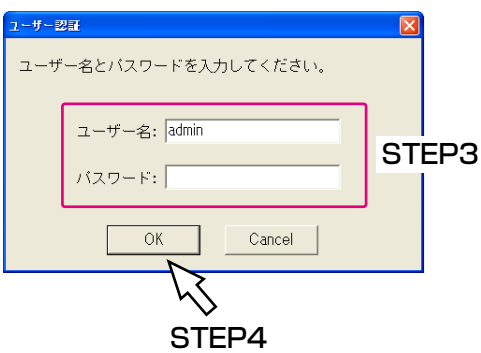
表示例

STEP2

サーバーPCのIPアドレスまたはURLを［アドレス］ボックスに入力し、ENTERキーを押します。

画面3

認証ウィンドウが表示されます。



STEP3

ユーザー名に「admin」と入力し、パスワードは空白のままにします。

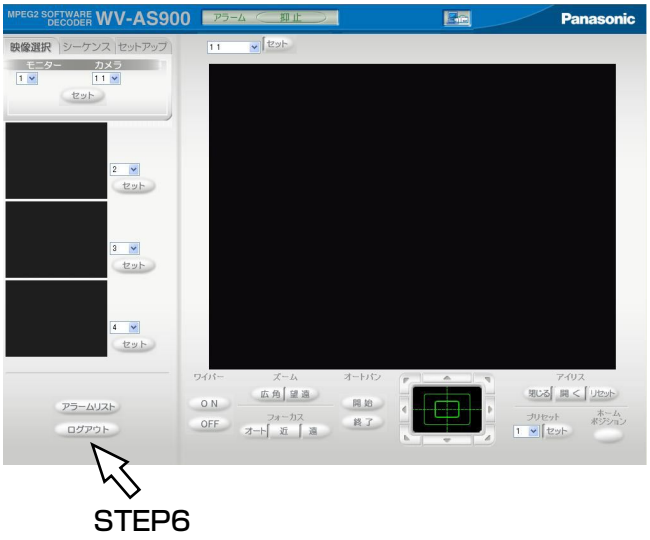
STEP4

［OK］ボタンをクリックします。

ログインする（つづき）

画面4

操作画面のトップページが表示されます。



STEP5

ボタンやタブをクリックして、各操作を行います。

STEP6

ログアウトするときは、［ログアウト］ボタンをクリックします。

操作画面について

トップページ

［映像選択］タブ（☞24ページ）
カメラの映像を表示するモニターや画面を切り換えたり、表示するカメラCHを切り換える操作はこのタブで行います。

［シーケンス］タブ（☞24ページ）
カメラの映像を自動的に切り換える（シーケンス）操作はこのタブで行います。

［セットアップ］タブ（☞25ページ）
セットアップメニューを表示し、ソフトデコーダーのセットアップに関する操作はこのタブで行います。

サブ画面
同時に3台のカメラ映像を表示します。上からサブ画面1、2、3の順になります。 をクリックして表示したいカメラCHを選択し、 セット をクリックすると、選択したカメラCHの映像が表示されます。また、サブ画面に表示されているカメラ映像をダブルクリックするとメイン画面に表示され、メイン画面のカメラ映像と入れ換えることができます。

［アラームリスト］ボタン
エンコーダーで発生したアラームの履歴（ログ）を表示します。ログは別のウィンドウに一覧で表示されます。アラームログについて詳しくは81ページをお読みください。

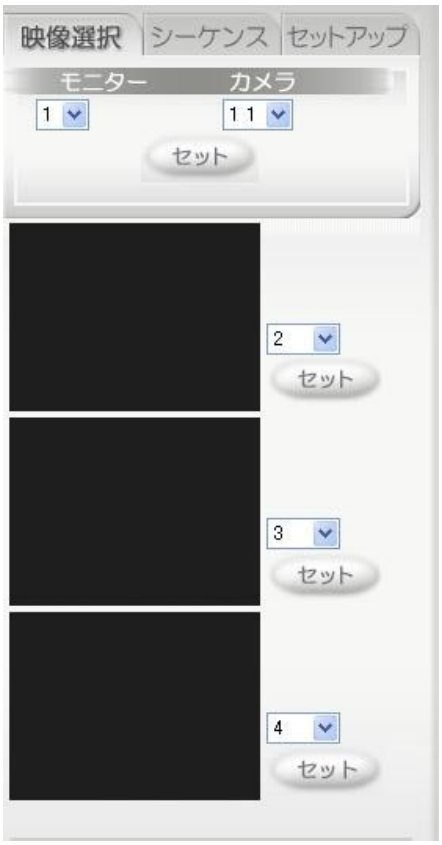
［ログアウト］ボタン
ログインしたユーザーがソフトデコーダーの操作を終了するときにクリックし、ログアウトします。クリックすると、ログアウト画面が表示されます。
また、ログアウト画面にある［Login］ボタンをクリックすると、認証ウィンドウが表示され、再度ログインすることができます。

ステータス表示部（☞26ページ）
アラーム動作の解除や抑止など、アラームに関する操作はこの表示部で行います。また、カメラ制御部でどの映像を制御しているのかをアイコンで示します。

メイン画面
カメラ映像を表示します。 をクリックして表示したいカメラCHとカメラタイトルを選択し、 セット をクリックすると、選択したカメラCHの映像が表示されます。

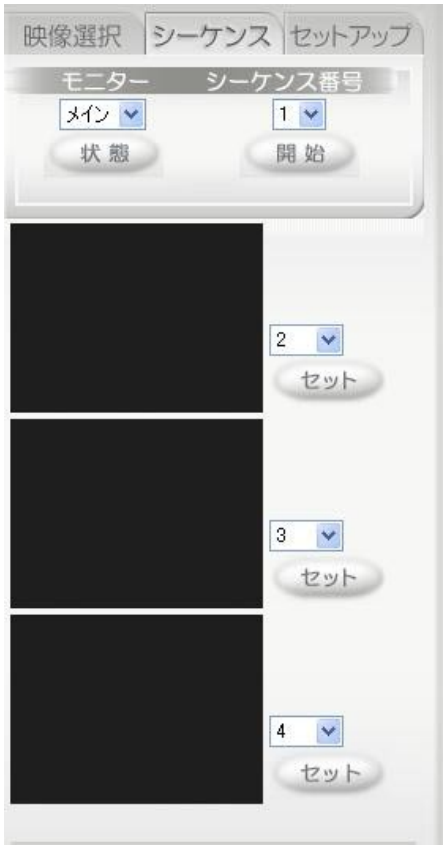
カメラ制御部（☞27ページ）
ズームやフォーカス、オートパン、プリセット移動などカメラ映像の制御はこのカメラ制御部で行います。

[映像選択] タブ



「モニター」欄の をクリックし、カメラ映像を表示させたいモニターを選択します。「カメラ」欄の をクリックし、表示したいカメラCHとカメラタイトル（先頭7文字まで）を選択します。 セット をクリックすると、選択したモニターにカメラ映像が表示されます。

[シーケンス] タブ



「シーケンス番号」欄の をクリックし、動作させたいシーケンス番号を選択します。「モニター」欄の をクリックし、表示させたいモニターや画面を選択します。
開始 をクリックすると、選択したモニターまたは画面にシーケンス番号の映像が表示されます。
状態 をクリックすると、「モニター状態」画面が表示され、モニターや画面ごとに設定されているシーケンス番号を一覧で確認できます。詳しくは77ページをお読みください。

[セットアップ] タブ

[一覧表示] ボックス

エンコーダー (GXE900)

エンコーダーの各種設定内容を表示します。詳しくは57ページをお読みください。

デコーダー (GXD900)

デコーダーの各種設定内容を表示します。詳しくは63ページをお読みください。

[セットアップ] ボックス

アラーム

アラーム発生時の動作やアラームの解除方法など、アラームに関する設定を行うメニューを表示します。メニューについて詳しくは32ページをお読みください。

映 像

トップページに表示するカメラ映像を設定するメニューを表示します。メニューについて詳しくは36ページをお読みください。

カメラ

カメラの設定メニューを表示したり、カメラのプリセット登録を行うメニューを表示します。メニューについて詳しくは37ページをお読みください。

システム

エンコーダー・デコーダーに接続されているカメラ・モニターのうち、ソフトデコーダーで使用するカメラ・モニターを登録するメニューを表示します。メニューについて詳しくは40ページをお読みください。

シーケンス

カメラ映像を表示する順番や映像を切り換える時間など、シーケンス動作の詳細を設定するメニューを表示します。メニューについて詳しくは42ページをお読みください。

ユーザー

ソフトデコーダーを使用するユーザーのユーザー名、パスワード、ユーザーレベルを登録するメニューを表示します。メニューについて詳しくは43ページをお読みください。

エンコーダー (GXE900)

使用するエンコーダーを登録・削除するメニューを表示します。メニューについて詳しくは45ページをお読みください。

デコーダー (GXD900)

使用するデコーダーを登録・削除するメニューを表示します。メニューについて詳しくは48ページをお読みください。

メンテナンス

サーバーPCの設定内容を初期化したり、ソフトデコーダーでのエンコーダー・デコーダーの設定内容をエンコーダー・デコーダーへアップデート（更新）するなど、システムの設定内容に関する操作を行うメニューを表示します。メニューについて詳しくは51ページをお読みください。

ステータス表示部

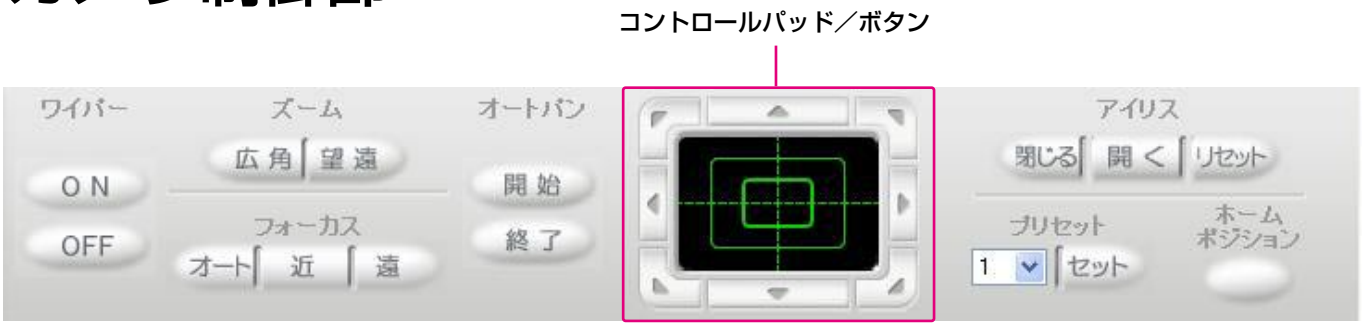
クリックすると、ボタンが緑色に変更し、「抑止中」の表示に切り換わります。エンコーダーからのアラーム通知を無視し、アラーム動作を行ないません。
再度［抑止中］ボタンをクリックすると、アラーム抑止を解除できます。
アラーム抑止について詳しくは80ページをお読みください。

エンコーダーからのアラーム通知を受けると表示されます。クリックすると、アラーム動作を解除し、ボタンは消去されます。アラームの設定でアラームの解除方法を自動に設定している場合、設定した時間が経過すると、自動的に消去されます。アラームの設定について詳しくは34ページをお読みください。

カメラ制御部でメイン画面のカメラ映像を制御していることを示しています。

［映像選択］タブ（☞24ページ）で選択したモニターに表示されている映像を制御していることを示しています。

カメラ制御部



［ワイパー］ボックス

カメラのワイパーを動作します。 ON をクリックすると、ワイパーが動作します。 OFF をクリックすると、ワイパーが停止します。

補足

システム構成のしかたによって、自動的にワイパー動作が停止するなど、ワイパーの動作時間が異なります。

［ズーム］ボックス

広角 または 望遠 をクリックしてズームを調節します。

［フォーカス］ボックス

近 または 遠 をクリックして、カメラ映像の焦点を調節します。 オート をクリックすると、自動で焦点を調節（オートフォーカス）することができます。

［オートパン］ボックス

あらかじめ登録されたパンの開始位置から終了位置まで、カメラを自動的に回転させます。

開始 をクリックすると、オートパン動作を開始します。 終了 をクリックすると、オートパン動作を終了します。

コントロールパッド／ボタン

パッド周囲にあるボタンをクリックすると、クリックした方向にカメラの向きが移動（パン／チルト）します。また、コントロールパッド内をクリックしても、映像の水平位置／垂直位置を調節（パン／チルト）できます。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。

［アイリス］ボックス

閉じる または 開く をクリックして、レンズの絞りを調節します。 リセット をクリックすると、アイリスの設定をリセットできます。

［プリセット］ボックス

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。 をクリックしてプリセット番号を選択し、 セット をクリックします。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。プリセット登録については39ページをお読みください。

［ホームポジション］ボックス

ボタンをクリックすると、あらかじめ登録されたホームポジションにカメラの向きを移動します。ホームポジションの登録のしかたはカメラの取扱説明書をお読みください。

初めて操作するときに必要なセットアップについて

初めてソフトデコーダーを操作する場合、ログイン後、以下のセットアップが必要になります。セットアップは以下の順序で行ってください。
設定のしかたなど詳しくは各セットアップの参照ページをお読みください。

① ユーザーの登録（☞43ページ）
↓
② エンコーダーの登録（☞45ページ）
↓
③ デコーダーの登録（☞48ページ）
↓
④ エンコーダー・デコーダーの設定情報の更新（☞53、55ページ）
↓
⑤ カメラ・モニターの登録（☞40、41ページ）

重要！
- セットアップは必ずシステムの管理者が行ってください。
- セットアップは複数のPCから同時に行わないでください。

セットアップメニュー一覧

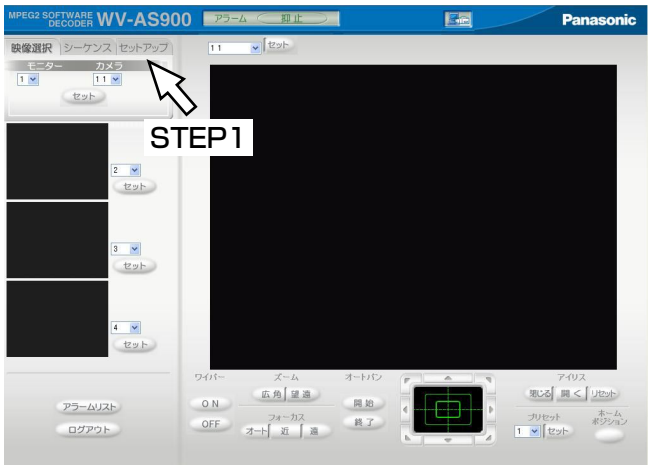
ソフトデコーダーを操作する場合、あらかじめ、セットアップメニューで各項目を設定しておく必要があります。
セットアップメニューの操作は、［セットアップ］タブで行います。
セットアップメニューで設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目		概要	ページ
アラーム			
	追加・削除	サーバーPCがエンコーダーからアラーム通知を受信した場合、どのモニターまたは画面にどのカメラ映像を表示するかなどのアラーム発生時の動作を設定します。	32
	リセット・日時	アラームの解除方法とアラームログでの日付時刻の表示形式を設定します。	34
映像		ソフトデコーダーの起動時、操作画面のトップページに表示するカメラ映像を設定します。	36
カメラ			
	メニュー	カメラの設定メニューを表示します。	37
	プリセット	カメラのプリセットポジションを登録します。	39
システム			
	カメラ	エンコーダーに接続しているカメラを登録します。	40
	モニター	デコーダーに接続しているモニターを登録します。	41
シーケンス		カメラの映像を表示する順番や映像を切り換える時間など、シーケンス動作を設定します。	42
ユーザー		ソフトデコーダーを使用するユーザーを登録します。ソフトデコーダーを使用するユーザーを制限するための認証設定を行います。	43
エンコーダー			
	設定	ソフトデコーダーで操作するエンコーダーを登録します。	45
	削除	ソフトデコーダーで操作するエンコーダーを削除します。	47
デコーダー			
	設定	ソフトデコーダーで操作するデコーダーを登録します。	48
	削除	ソフトデコーダーで操作するデコーダーを削除します。	50
メンテナンス			
	初期化	サーバーPCに設定されている内容を工場出荷時の状態に戻します。	51
	エンコーダー	サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を更新します。	53
	デコーダー	サーバーPCに登録されているデコーダーの設定内容を更新します。	55

セットアップメニューの表示のしかた

画面1

操作画面のトップページから操作します。

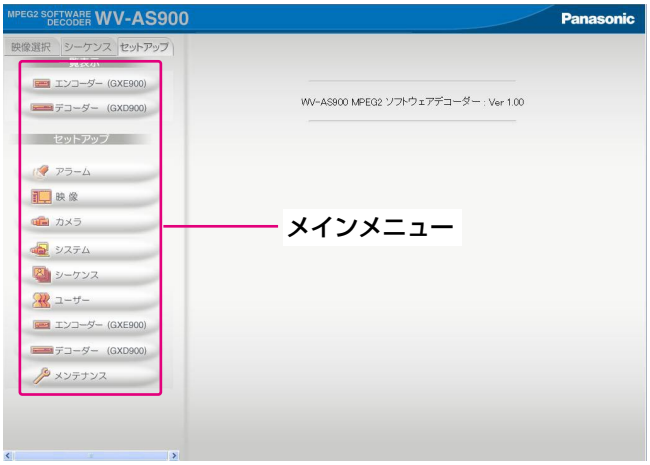


STEP1

［セットアップ］タブをクリックします。

画面2

メイン画面にセットアップメニュー画面のトップページが表示されます。

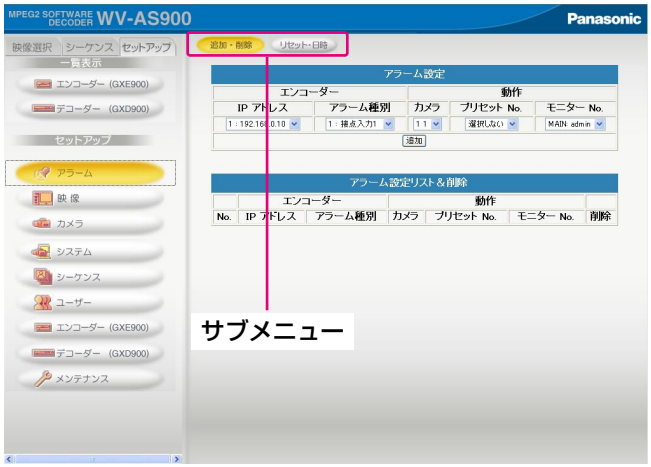


STEP2

セットアップメニューのメインメニューのボタンをクリックします。

画面3

メイン画面の上部に選択したメインメニューのサブメニューのボタンが表示されます。



STEP3

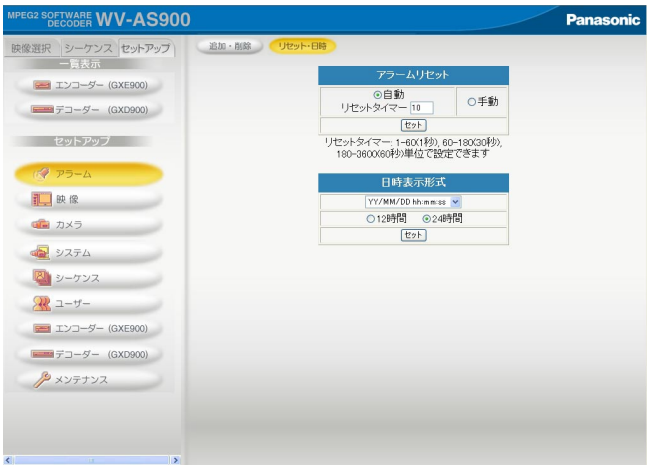
設定したいサブメニューのボタンをクリックします。

補足

メインメニューによってはサブメニューがないものもあります。その場合、サブメニューのボタンは表示されません。

画面4

メイン画面に選択したサブメニューの設定項目が表示されます。



STEP4

各項目を設定します。
他のメインメニューを操作したい場合は、操作したいメインメニューのボタンをクリックします。セットアップメニューの操作を終了するときは、他のタブをクリックします。

重要！

エンコーダー、デコーダーに関する設定内容を変更した場合、セットアップメニューを終了しただけでは、システムには反映されません。設定内容を変更した場合は、必ず、［メンテナンス］で設定内容の更新を行ってください。詳しくは53、55ページをお読みください。

アラームに関する設定を行う［アラーム］

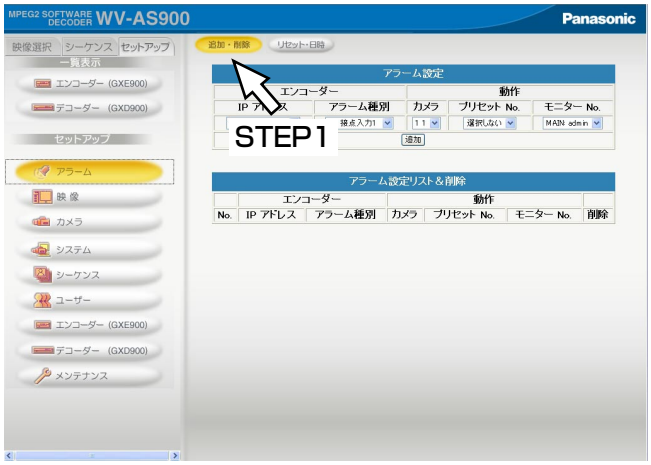
サーバーPCがエンコーダーからアラーム通知を受信した場合のソフトデコーダーのアラーム動作を設定します。
また、アラームの解除方法とアラームログ上での日付時刻の表示形式を設定します。

アラーム発生時の動作を設定する［追加・削除］

サーバーPCがエンコーダーからアラーム通知を受信した場合、どのモニターまたは画面にどのカメラ映像を表示するかなどのアラーム動作を設定します。アラーム動作として最大128件まで登録できます。

画面1

［セットアップ］タブの［アラーム］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

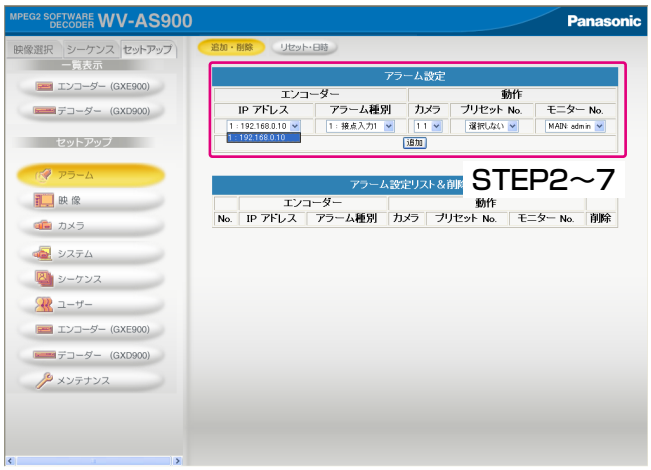


STEP1

サブメニューの［追加・削除］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［アラーム設定］ボックスと［アラーム設定リスト&削除］ボックスが表示されます。



STEP2

「IPアドレス」欄の［⋁］ボタンをクリックして、エンコーダーのIPアドレスを設定します。［⋁］ボタンをクリックすると、登録されているエンコーダーのIPアドレスがリストで表示されます。

STEP3

「アラーム種別」欄の［⋁］ボタンをクリックして、アラームの種別を以下から設定します。

接点アラーム1～4
：エンコーダー後面のアラーム入力端子（1～4）にアラーム信号が入力された場合

カメラサイトアラーム
：エンコーダー後面のVIDEO IN端子（1～4）に接続したカメラやレシーバーからアラーム信号を受信した場合

（次ページへ続く）

ビデオロスアラーム
：カメラの故障や電源OFF、映像ケーブルの断線などで、エンコーダー後面のVIDEO IN端子（1～4）に映像信号が送られてこない場合

STEP4

「カメラ」欄の［⋁］ボタンをクリックして、アラーム発生時に表示するカメラ映像を設定します。［⋁］ボタンをクリックすると、登録されているカメラのカメラCHとタイトルがリストで表示されます。

STEP5

「プリセットNo.」欄の［⋁］ボタンをクリックして、アラーム発生時に表示するプリセット番号を設定します。［⋁］ボタンをクリックすると、設定したカメラCHに登録されているプリセット番号がリストで表示されます。

STEP6

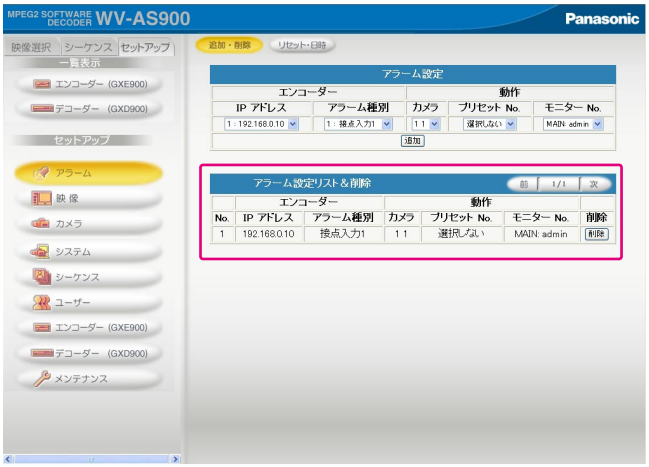
「モニターNo.」欄の［⋁］ボタンをクリックして、アラーム発生時に、設定したカメラCHの映像を表示するモニターまたは画面を設定します。［⋁］ボタンをクリックすると、登録されているモニターの番号と登録されているユーザーのメイン画面がリストで表示されます。

STEP7

設定したら、［追加］ボタンをクリックします。

画面3

［アラーム設定リスト&削除］ボックスに設定した内容が反映されます。



STEP8

アラーム動作のリストは1ページに20件ずつ表示されます。ページを切り換えたいときは、［前］ボタンまたは［次］ボタンをクリックします。

補足
設定したアラーム動作を削除したい場合は、削除したいアラーム動作の［削除］ボタンをクリックします。削除すると、それ以降のアラーム動作のNo.が1つ繰り上がり、上に詰めて表示されます。

アラームの解除方法と日付時刻の表示形式を設定する［リセット・日時］

アラームの解除方法とアラームログ上での日付時刻の表示形式を設定します。アラームの解除方法は手動と自動のどちらかが選択できます。

画面1

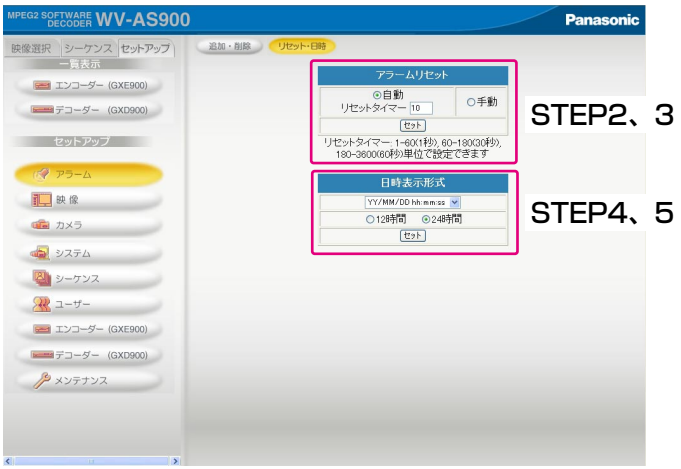
［セットアップ］タブの［アラーム］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

STEP1

サブメニューの［リセット・日時］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［アラームリセット］ボックスと［日時表示形式］ボックスが表示されます。



STEP2

アラームの解除方法を［自動］または［手動］のどちらかに設定します。

［アラームリセット］ボックス

自動

：設定した時間が経過すると自動的にアラーム動作を解除します。「自動」に設定した場合、タイマー時間を設定します。設定できる時間は以下のとおりです。1～60秒（1秒単位で設定可）／60～180秒（30秒単位で設定可）／180～3600秒（60秒単位で設定可）

手動

：ステータス表示部に表示される［リセット］ボタンをクリックするまでアラーム動作を解除しません。

補足

「自動」に設定していても、手動でアラーム動作をリセットすることができます。

（次ページへ続く）

STEP3

設定したら、［セット］ボタンをクリックします。

STEP4

日付時刻の表示形式を以下から設定します。
（例：2003年4月1日の場合）
［日時表示形式］ボックス
YY/MM/DD hh:mm:ss：03/4/1と表示します。
MMM DD,YY hh:mm:ss：APR 1, 03と表示します。
DD/MM,YY hh:mm:ss：1/4, 03と表示します。

また、時刻の表示形式を以下から設定します。
（例：午後3時00分00 秒の場合）
12時間：3:00:00PMと表示します。
24時間：15:00:00と表示します。

STEP5

設定したら、［セット］ボタンをクリックします。

重要！
エンコーダーの「アラーム設定」にある「アラーム・接点入力設定ページ」のアラームのリセット方法は必ず「CGIリセット」に設定してください。詳しくはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

トップページに表示するカメラ映像を設定する［映像］

ソフトデコーダーの起動時、操作画面のトップページのメイン画面とサブ画面（1～3）に表示されるカメラ映像を設定します。

画面1

［セットアップ］タブの［映像］ボタンをクリックし、［デコード映像設定］ボックスを表示したところから操作します。

STEP1

［⋁］ボタンをクリックして、各画面に表示させたいカメラCHを設定します。

STEP2

設定したら、［セット］ボタンをクリックします。［リセット］ボタンをクリックすると、操作がキャンセルされ、登録されている元の設定内容に戻ります。

重要！

システムをユニキャストで構成している場合、各画面に表示されるカメラCHは異なるCHを設定してください。同じカメラCHを設定すると、正しく表示されません。

カメラの設定とプリセット登録を行う［カメラ］

カメラの設定メニューを表示したり、カメラのプリセットポジションを登録するなど、カメラの設定に関する操作を行います。

カメラの設定メニューを表示する［メニュー］

エンコーダーに接続しているカメラを操作する場合、あらかじめカメラ機能を設定しておく必要があります。
カメラ機能の設定はカメラの設定メニューで行います。
カメラの設定メニューはソフトデコーダーから呼び出して操作することができます。カメラの設定メニューの内容や操作方法はカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
ここでは、カメラの設定メニューの表示のしかたについて説明します。

画面1

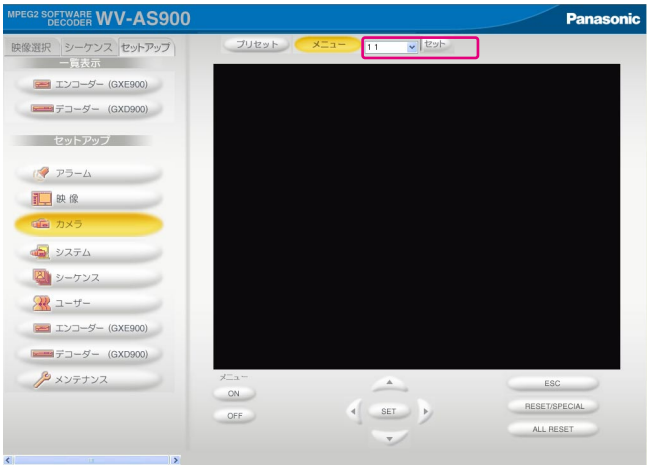
［セットアップ］タブの［カメラ］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

STEP1

サブメニューの［メニュー］ボタンをクリックします。

画面2

カメラ制御部にカメラ設定メニューを操作するボタンが表示されます。

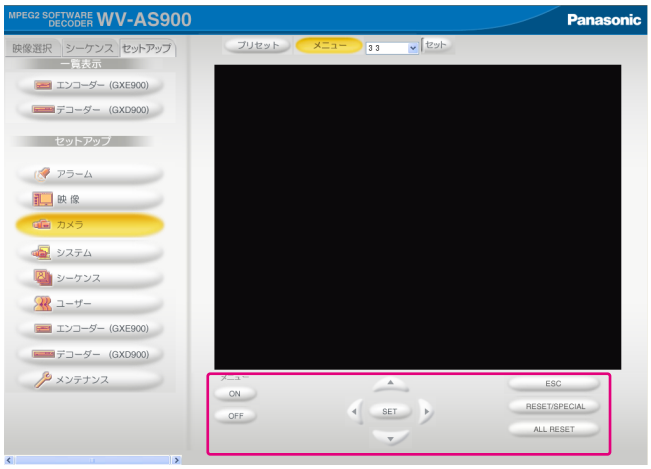


STEP2

［∨］ボタンをクリックし、操作したいカメラCHを選択し［セット］ボタンをクリックします。

画面3

選択したカメラCHの映像が表示されます。



STEP3、4

STEP3

カメラ設定メニューを操作します。使用するボタンは以下のとおりです。

［メニュー］ボックス
［ON］ボタン：カメラ設定メニューを表示します。
［OFF］ボタン：カメラ設定メニューを表示しません。

［▼▲◄ ►］ボタン：カーソルを移動します。
［SET］ボタン：設定した内容を確定します。

［ESC］ボタン：前のページに戻ります。
［RESET/SPECIAL］ボタン
：スペシャルメニューを表示します。また、スペシャルメニューが表示されている状態でクリックすると、スペシャルメニューの設定内容を初期化します。
［ALL RESET］ボタン
：スペシャルメニューの「CAMERA RESET」にカーソルを合わせ、このボタンをクリックすると、プリセット登録の設定内容以外の設定を初期化します。

STEP4

カメラ設定メニューを終了するときは［OFF］ボタンをクリックします。

プリセットポジションを登録する［プリセット］

カメラのプリセットポジションを登録します。プリセットポジションは最大64か所まで登録できます。

画面1

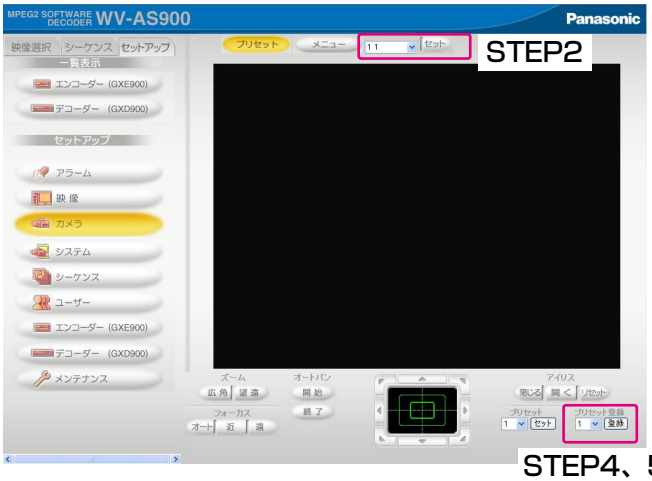
［セットアップ］タブの［カメラ］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

STEP1

サブメニューの［プリセット］ボタンをクリックします。

画面2

プリセットポジションを設定する画面が表示されます。



STEP2

メイン画面の［⋁］ボタンをクリックしてプリセット登録したいカメラCHとカメラタイトルを設定します。

STEP3

メイン画面のカメラ映像を見ながら、カメラ制御部の各ボタンをクリックして、カメラの向きをプリセット登録したい位置に調節します。

STEP4

［プリセット登録］ボックスの［⋁］ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号を設定します。

STEP5

［プリセット登録］ボックスの［登録］ボタンをクリックします。
→設定したプリセット番号にプリセット登録されます。

補足

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動したい場合は、［プリセット］ボックスにある［⋁］ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号を設定し、［セット］ボタンをクリックします。

カメラとモニターを登録する［システム］

エンコーダー・デコーダーに接続しているカメラとモニターを登録します。
ソフトデコーダーでは最大64台のカメラと32台のモニターを管理できます。

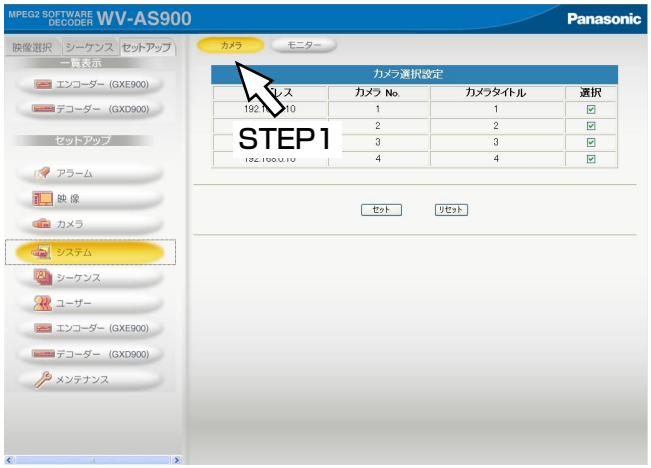
重要！
カメラとモニターを登録する前に、ソフトデコーダーで使用するエンコーダー・デコーダーを登録しておく必要があります。

カメラを登録する［カメラ］

エンコーダーに接続しているカメラを登録します。

画面1

［セットアップ］タブの［システム］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

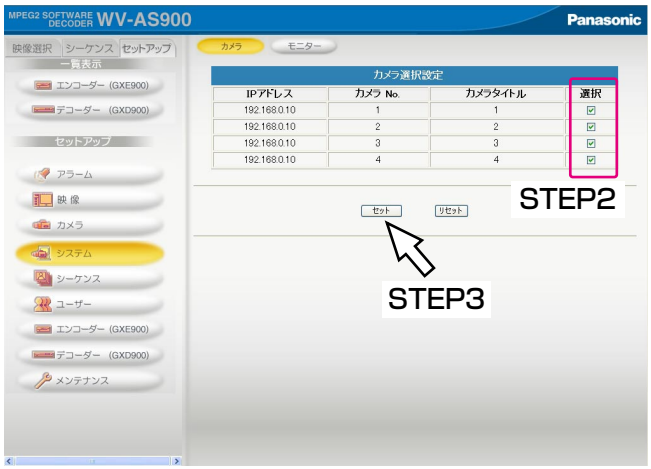


STEP1

サブメニューの［カメラ］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［カメラ選択設定］ボックスが表示され、接続されているカメラ情報（カメラCH、カメラタイトル）が、登録しているエンコーダーのIPアドレスごとにリストで表示されます。



STEP2

登録するカメラの「選択」欄のチェックボックスをクリックして、チェックを入れます。

STEP3

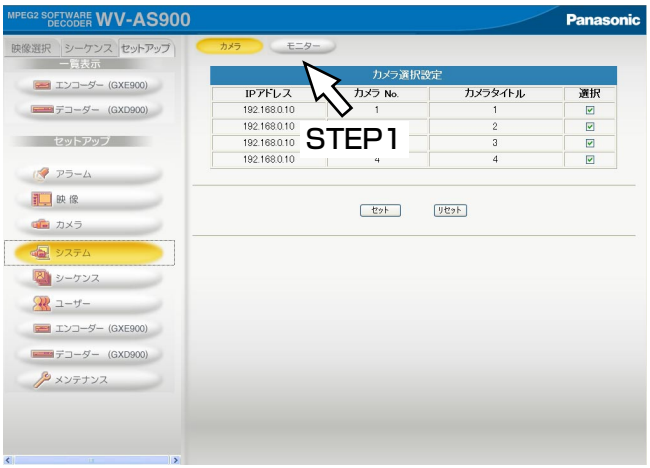
チェックしたら、［セット］ボタンをクリックして登録を完了します。［リセット］ボタンをクリックすると、操作がキャンセルされ、登録されている元の設定内容に戻ります。

モニターを登録する［モニター］

デコーダーに接続しているモニターを登録します。モニターの登録はモニター番号を入力することで、使用するモニターの設定とモニター番号の設定を同時に行います。

画面1

［セットアップ］タブの［システム］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

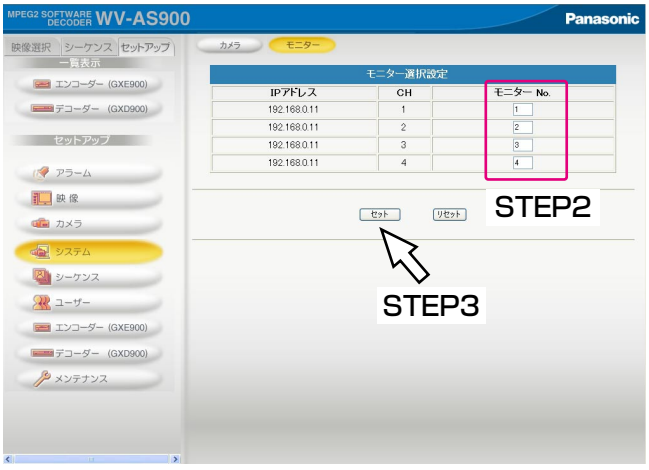


STEP1

サブメニューの［モニター］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［出力選択設定］ボックスが表示され、モニターが接続されているデコーダーのVIDEO OUT端子番号（1～4）が、デコーダーのIPアドレスごとにリストで表示されます。



STEP2

登録したいモニターの「モニターNo.」欄にモニター番号（1～32）を入力します。

STEP3

すべてのモニター番号を入力したら、［セット］ボタンをクリックします。［リセット］ボタンをクリックすると、操作がキャンセルされ、登録されている元の設定内容に戻ります。

シーケンス動作を設定する［シーケンス］

カメラ映像を表示する順番や映像を切り換える時間など、シーケンス動作を設定します。シーケンス動作は最大32パターンまで登録できます。また、各シーケンスに最大64ステップまで設定できます。

画面1

［セットアップ］タブの［シーケンス］ボタンをクリックし、［シーケンス設定］ボックスを表示したところから操作します。

STEP1

各シーケンスステップの「カメラ」欄の［⋁］ボタンをクリックして、表示させたいカメラCHを設定します。

STEP2

設定したカメラCHの映像を表示する時間を「切り換え時間」欄に入力します。
表示時間は1～60秒の間で1秒単位で設定できます。

STEP3

設定したいステップごとにSTEP1～STEP2の動作を繰り返します。

STEP4

「シーケンスNo.」欄の［⋁］ボタンをクリックして、シーケンス番号を設定します。

STEP5

設定したら、［セット］ボタンをクリックします。

補足

- シーケンス動作の設定内容を変更したい場合は、「シーケンスNo.」欄の［⋁］ボタンをクリックして、変更したいシーケンス番号を選択し、各ステップのカメラCHと表示時間を設定し直します。
- シーケンス動作を削除したい場合は、「シーケンスNo.」欄の［⋁］ボタンをクリックして、削除したいシーケンス番号を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

使用するユーザーを登録する［ユーザー］

ソフトデコーダーを使用するユーザーを登録します。ソフトデコーダーを使用するユーザーを制限するための認証設定を行います。ユーザー名、パスワード、アクセスレベルをユーザー情報として登録します。ユーザーは最大15ユーザーまで登録できます。

画面1

［セットアップ］タブの［ユーザー］ボタンをクリックし、［ユーザー設定］ボックスを表示したところから操作します。

STEP1

以下のユーザー情報を登録します。

ユーザー名

：ユーザー名を英数字16文字以内で入力します

パスワード

：パスワードを英数字16文字以内で入力します

パスワード再入力

：パスワード確認のため、再度入力します。

アクセスレベル

：操作を許可する範囲を以下から選択します。

1（ADMINISTRATOR）

管理者用のレベルです。すべての操作を行えます。

2（カメラ制御）

カメラの制御を行えます。カメラ制御部の各ボタンを使うことができます。セットアップはできません。

3（ライブ画表示）

カメラ映像の切り換えや表示するモニターや画面の選択を行えます。カメラの制御やセットアップはできません。

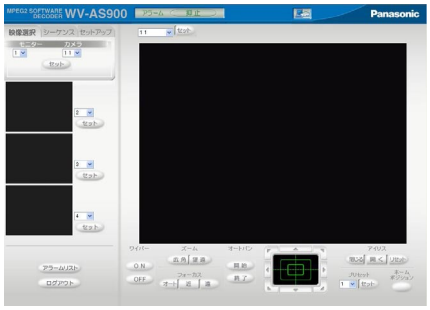
STEP2

登録したら、［追加］ボタンをクリックします。

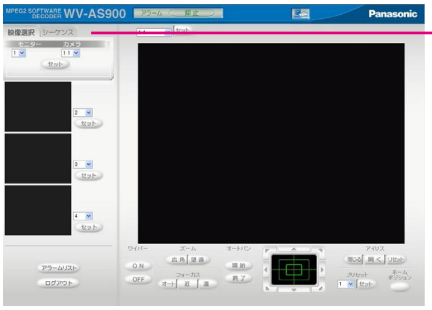
補足

- ユーザーを削除したい場合は、［削除］ボックスにある［⋁］ボタンをクリックして削除したいユーザーを選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- 工場出荷時、以下のユーザー（管理者）が登録されています。
  ユーザー名　　：admin
  パスワード　　：なし
  アクセスレベル　：1（ADMINISTRATOR）
- ユーザー名：adminを削除することはできません。
- パスワードを変更したいときは、「ユーザー名」にパスワードを変更したいユーザー名を入力し、新しいパスワードを入力してください。
- アクセスレベルによって、操作画面のトップページに表示される内容が以下のように異なります。

1（ADMINISTRATOR）の場合

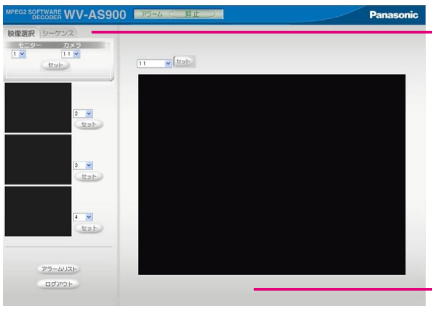


2（カメラ制御）の場合



［セットアップ］タブが表示されない

3（ライブ画表示）の場合



［セットアップ］タブが表示されない

カメラ制御部が表示されない

使用するエンコーダーを登録・削除する［エンコーダー（GXE900)］

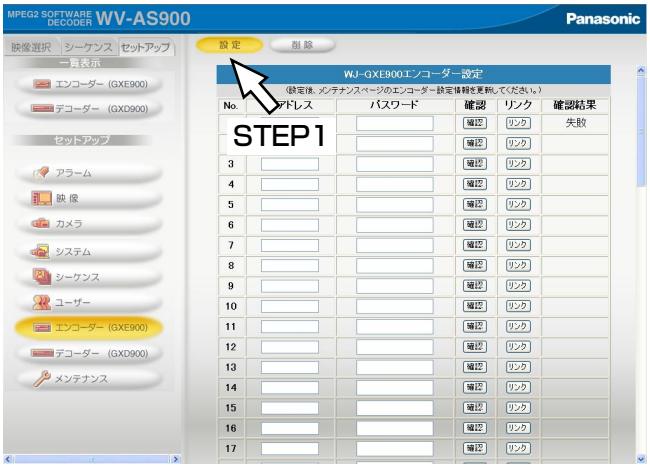
ソフトデコーダーで操作するエンコーダーを登録・削除します。エンコーダーは最大64台まで登録できます。

エンコーダーを登録する［設定］

ソフトデコーダーで操作するエンコーダーを登録します。

画面1

［セットアップ］タブの［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

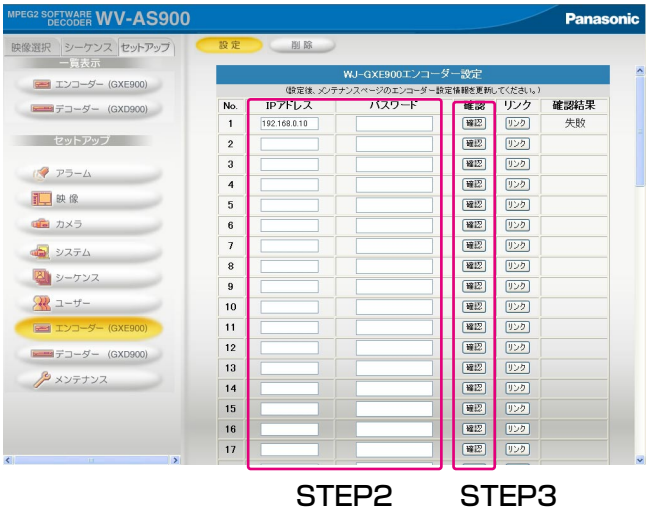


STEP1

サブメニューの［設定］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［WJ-GXE900 エンコーダー設定］ボックスが表示されます。



STEP2

登録したいエンコーダーの以下の情報を入力し、登録します。

IP アドレス

：エンコーダーのIPアドレスを入力します。

パスワード

：エンコーダーに登録されているadmin（管理者）のパスワードを入力します。

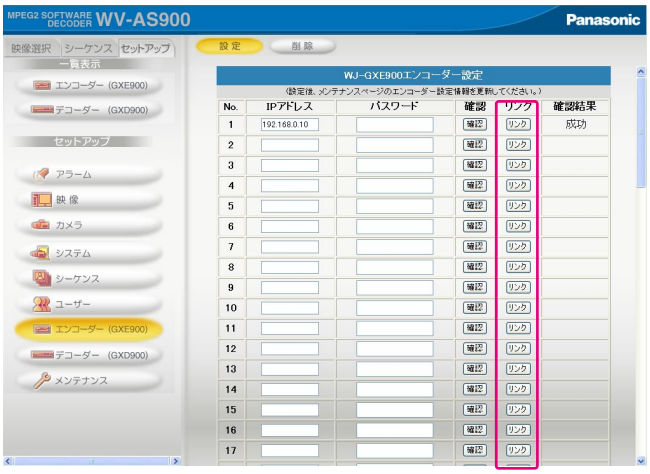
STEP3

［確認］ボタンをクリックします。

→エンコーダーのユーザー認証が行われます。

画面3

認証されると、「確認結果」欄に「成功」と表示されます。



STEP4

STEP4

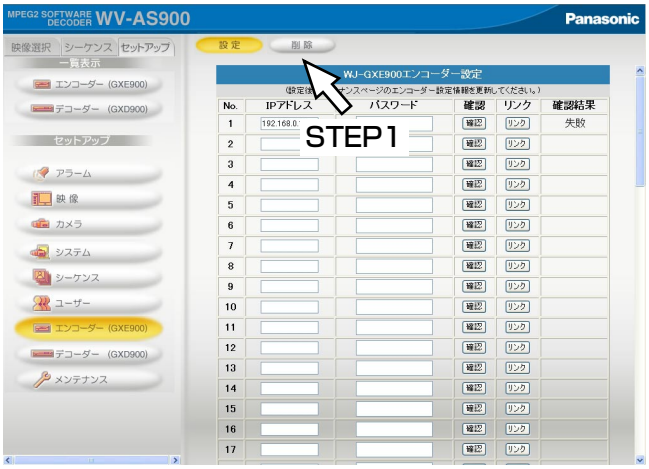
［リンク］ボタンをクリックすると、エンコーダーの設定ページが別ウィンドウで表示され、エンコーダー本体の設定を変更することができます。エンコーダーの設定についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

エンコーダーを削除する［削除］

登録しているエンコーダーを削除します。

画面1

［セットアップ］タブの［エンコーダー（GXE900）］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。



STEP1

サブメニューの［削除］ボタンをクリックします。

画面2

削除画面が表示されます。

STEP2

［⋁］ボタンをクリックして削除したいエンコーダーのIPアドレスを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

重要！

No.1に登録されているエンコーダーは削除できません。

使用するデコーダーを登録・削除する［デコーダー（GXD900)］

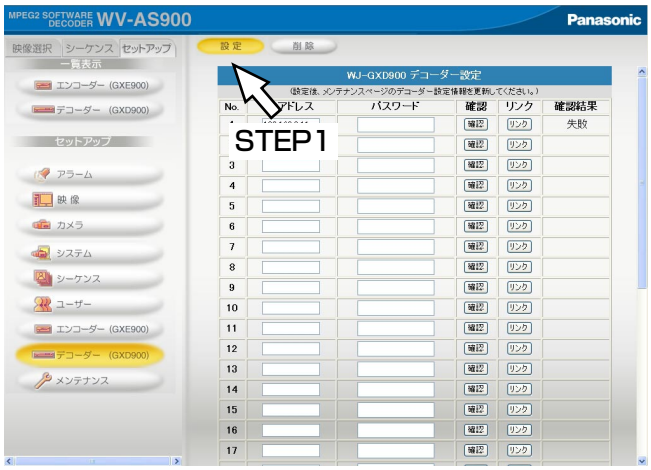
ソフトデコーダーで操作するデコーダーを登録・削除します。デコーダーは最大32台まで登録できます。

デコーダーを登録する［設定］

ソフトデコーダーで操作するデコーダーを登録します。

画面1

［セットアップ］タブの［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

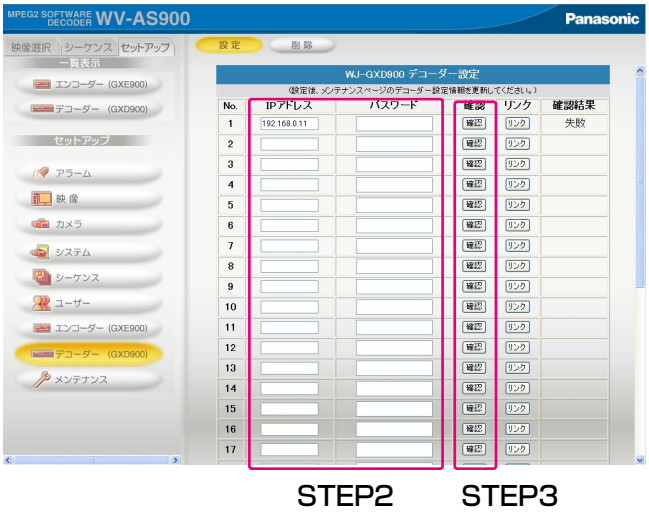


STEP1

サブメニューの［設定］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に［WJ-GXD900 デコーダー設定］ボックスが表示されます。



STEP2

登録したいデコーダーの以下の情報を入力し、登録します。

IP アドレス

：デコーダーのIPアドレスを入力します。

パスワード

：デコーダーに登録されているadmin（管理者）のパスワードを入力します。

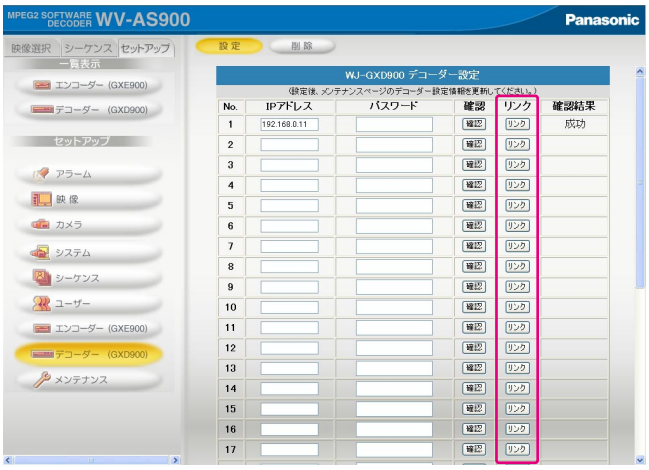
STEP3

［確認］ボタンをクリックします。

→デコーダーのユーザー認証が行われます。

画面3

認証されると、「確認結果」欄に「成功」と表示されます。



STEP4

STEP4

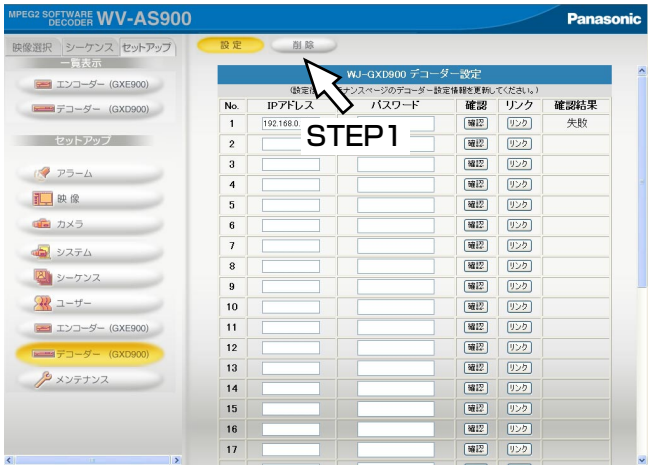
［リンク］ボタンをクリックすると、デコーダーの設定ページが別ウィンドウで表示され、デコーダー本体の設定を変更することができます。デコーダーの設定についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

デコーダーを削除する

登録しているデコーダーを削除します。

画面1

［セットアップ］タブの［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

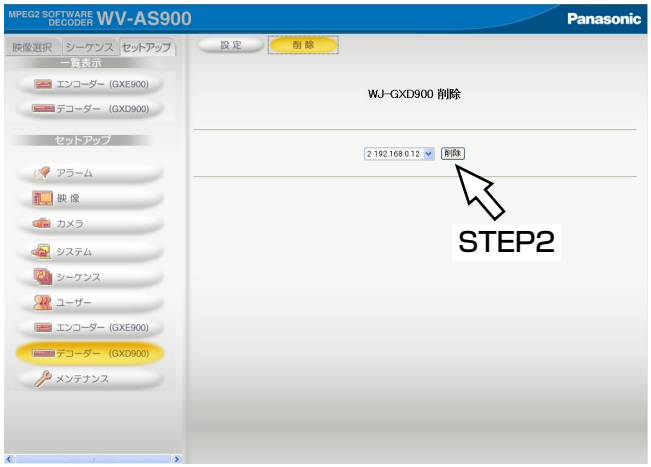


STEP1

サブメニューの［削除］ボタンをクリックします。

画面2

削除画面が表示されます。



STEP2

［⋁］ボタンをクリックして削除したいデコーダーのIPアドレスを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

重要！

No.1に登録されているデコーダーは削除できません。

セットアップ

システムの設定内容に関する設定［メンテナンス］

サーバーPCの設定内容を初期化したり、エンコーダー・デコーダーの設定内容を更新したい場合など、サーバーPCに登録されている設定内容に関する操作を行います。

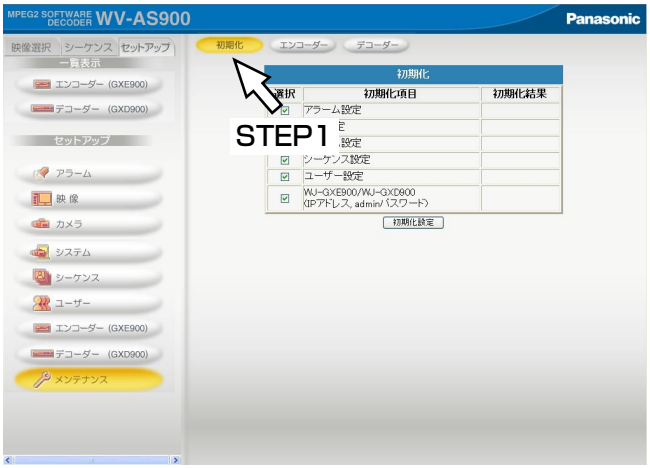
サーバーPCの設定内容を初期化する［初期化］

サーバーPCに設定されている内容を工場出荷時の状態に戻します。初期化できる項目は以下の6つです。

- ［アラーム］設定（☞32ページ）
- ［映像］設定（☞36ページ）
- ［システム］設定（☞40ページ）
- ［シーケンス］設定（☞42ページ）
- ［ユーザー］設定（☞43ページ）
- ［エンコーダー（GXE900）］設定（☞45ページ）／［デコーダー（GXD900）］設定（☞48ページ）

画面1

［セットアップ］タブの［メンテナンス］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

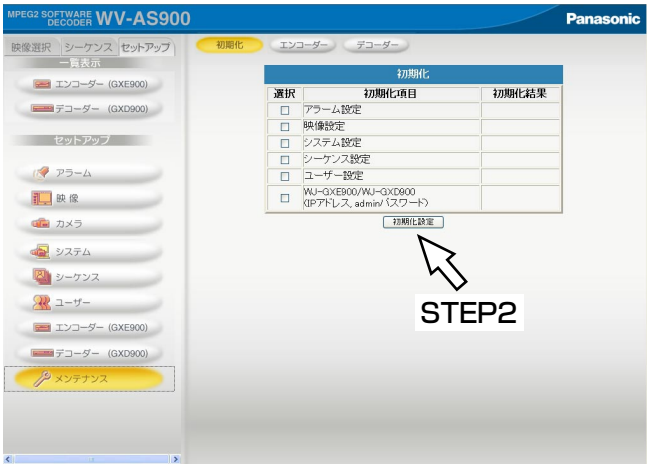


STEP1

サブメニューの［初期化］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に「初期化」ボックスが表示されます。

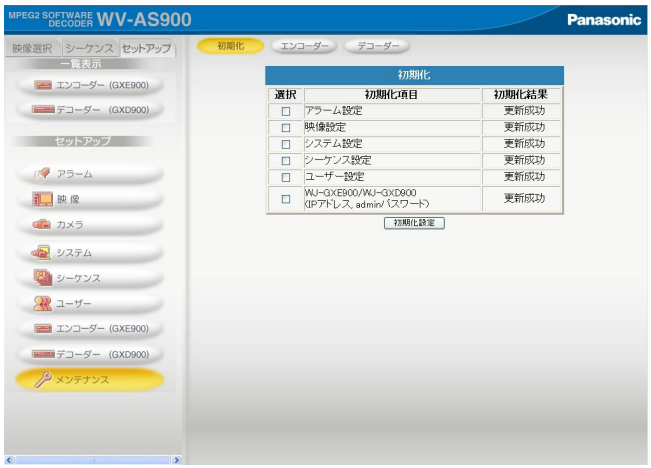


STEP2

初期化したい項目のチェックボックスにチェックを入れ、［初期化設定］ボタンをクリックします。

画面3

「初期化結果」欄に初期化の結果が表示されます。結果が表示されると、「選択」欄のチェックは消えます。



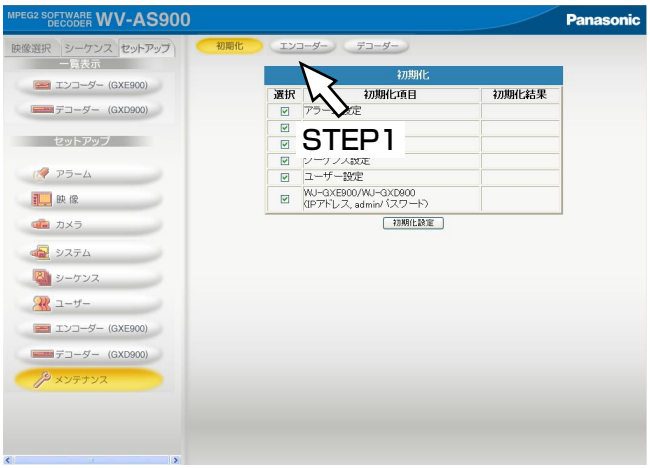
エンコーダーの設定内容を更新する［エンコーダー］

サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を更新します。ソフトデコーダーでエンコーダーの設定内容を確認したりする場合（☞57ページ）に行います。更新は設定項目ごとに個別に行えます。
エンコーダーの設定項目についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

補足
更新には数分間かかる場合があります。更新にかかる時間は更新する設定内容の情報量とネットワークの混み具合などによって異なります。

画面1

［セットアップ］タブの［メンテナンス］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。



STEP1

サブメニューの［エンコーダー］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に「WJ-GXE900情報」ボックスが表示されます。

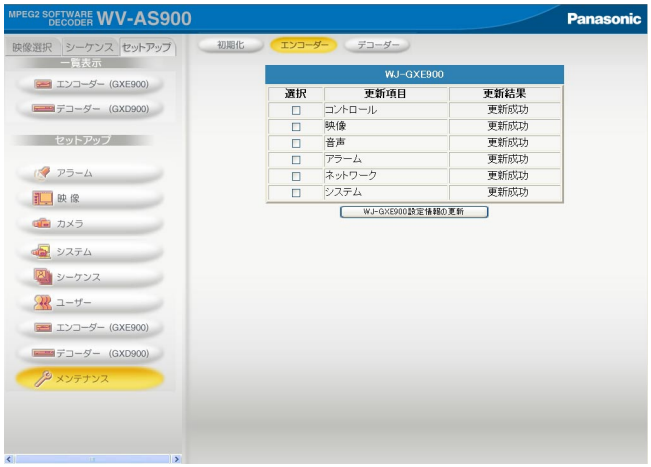
STEP2

更新したい項目の「選択」欄のチェックボックスにチェックを入れ、［WJ-GXE900設定情報の更新］ボタンをクリックします。

補足
初期化（☞51ページ）を実行すると、更新結果が「失敗」と表示されますが、異常ではありません。

画面3

「更新結果」欄に更新の結果が表示されます。結果が表示されると、「選択」欄のチェックは消えます。



デコーダーの設定内容を更新する［デコーダー］

サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を更新します。ソフトデコーダーでデコーダーの設定内容を確認したりする場合（☞63ページ）に行います。更新は設定項目ごとに個別に行えます。
デコーダーの設定項目についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

補足
更新には数分間かかる場合があります。更新にかかる時間は更新する設定内容の情報量と回線の混み具合などによって異なります。

画面1

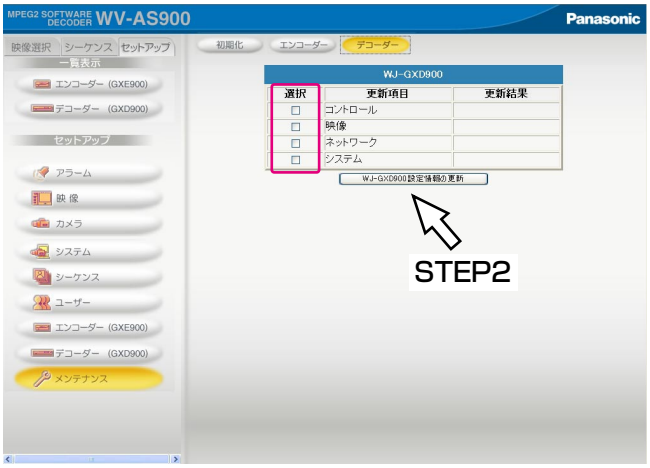
［セットアップ］タブの［メンテナンス］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

STEP1

サブメニューの［デコーダー］ボタンをクリックします。

画面2

メイン画面に「WJ-GXD900情報」ボックスが表示されます。



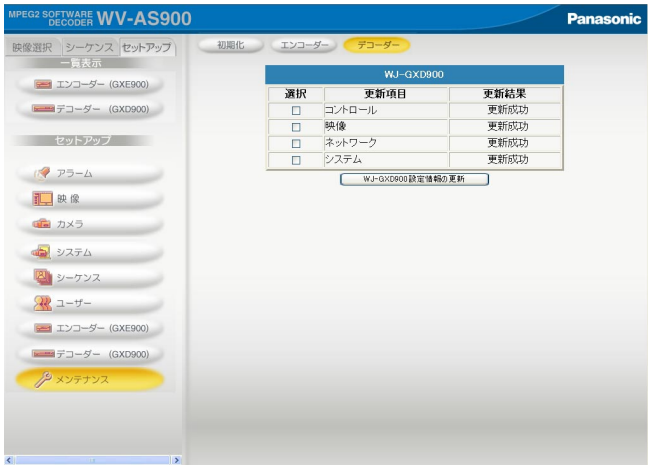
STEP2

更新したい項目のチェックボックスにチェックを入れ、［WJ-GXD900設定情報の更新］ボタンをクリックします。

補足
初期化（☞51ページ）を実行すると、更新結果が「失敗」と表示されますが、異常ではありません。

画面3

「更新結果」欄に更新の結果が表示されます。結果が表示されると、「選択」欄のチェックは消えます。



サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を確認する［エンコーダー（GXE900)］

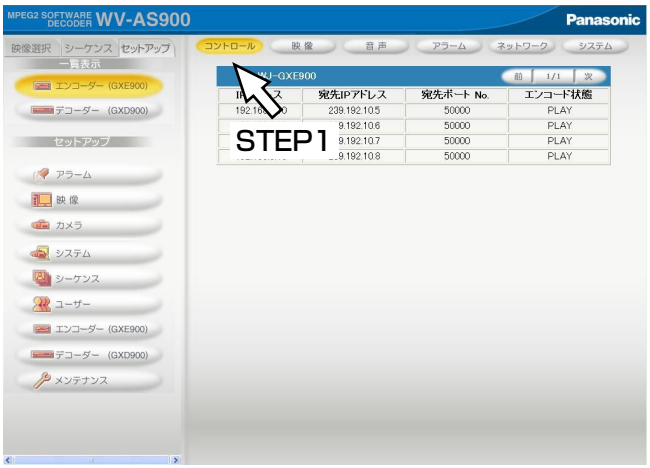
サーバーPCに登録されているエンコーダーの設定内容を確認します。ここでは、設定情報の表示のみで、設定内容を変更することはできません。
エンコーダーの設定内容の詳細についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

コントロールページを確認する

エンコーダーのコントロールページ（エンコーダーの制御・状態）の設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

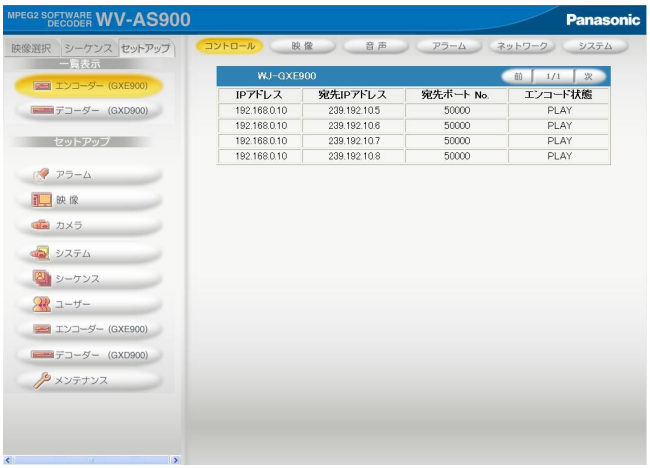


STEP1

サブメニューの［コントロール］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーのコントロールページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

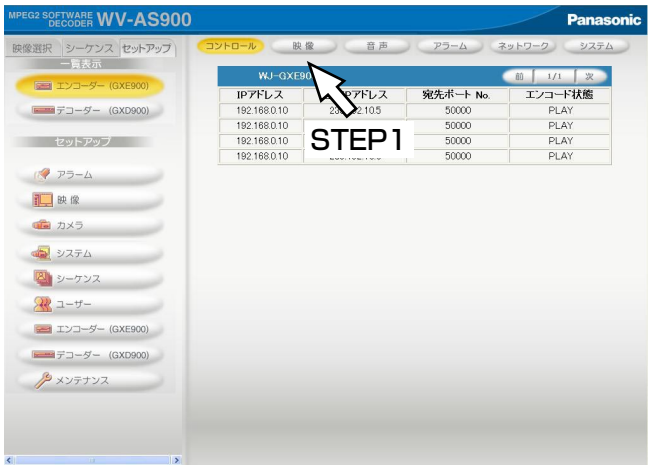
補足
設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

映像設定ページを確認する

エンコーダーの映像設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

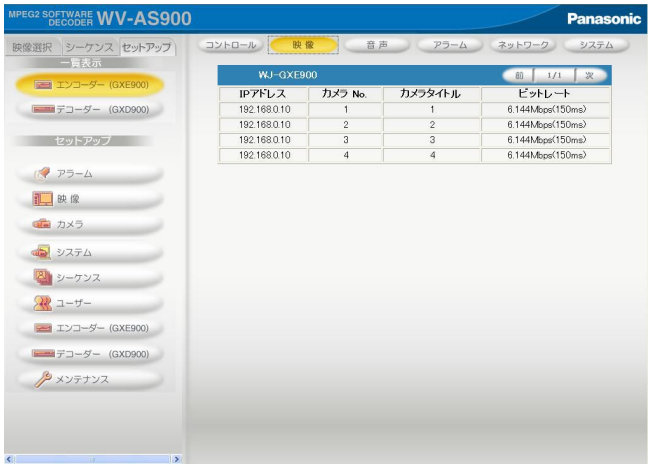


STEP1

サブメニューの［映像］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーの映像設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

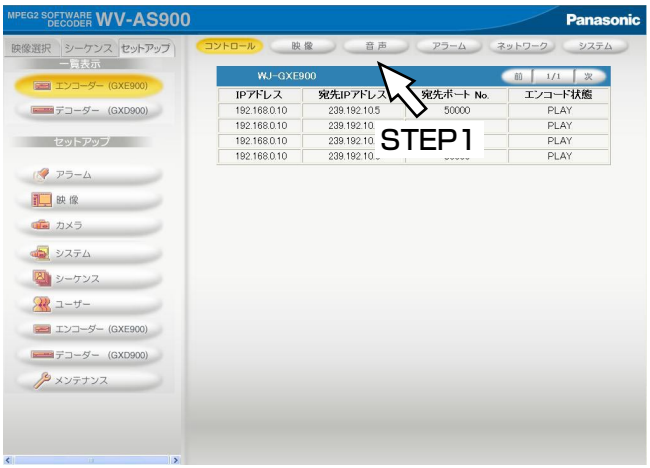
設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

音声設定ページを確認する

エンコーダーの音声設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

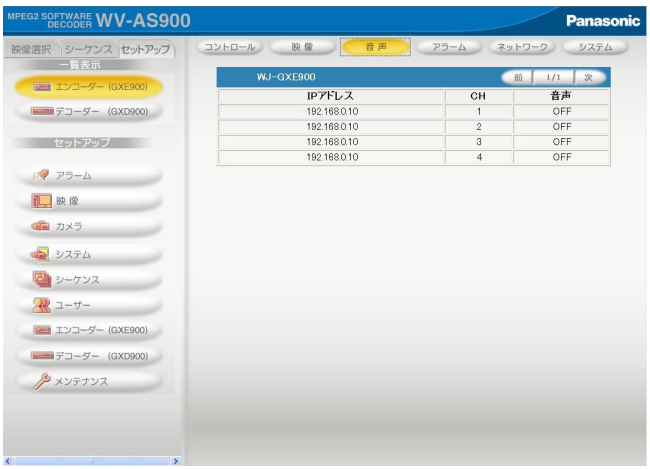


STEP1

サブメニューの［音声］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーの音声設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

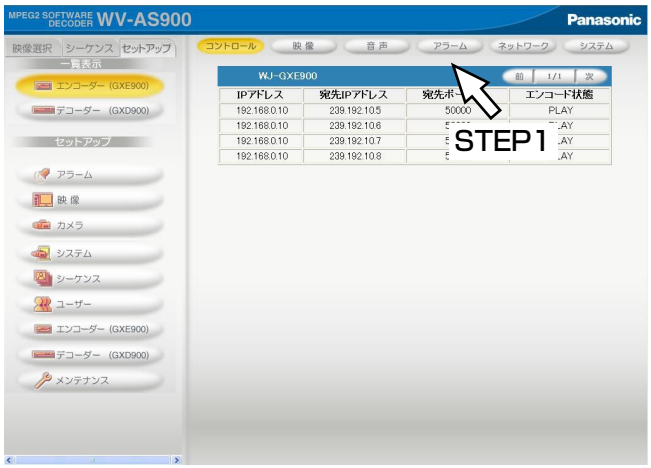
設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

アラーム設定ページを確認する

エンコーダーのアラーム設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

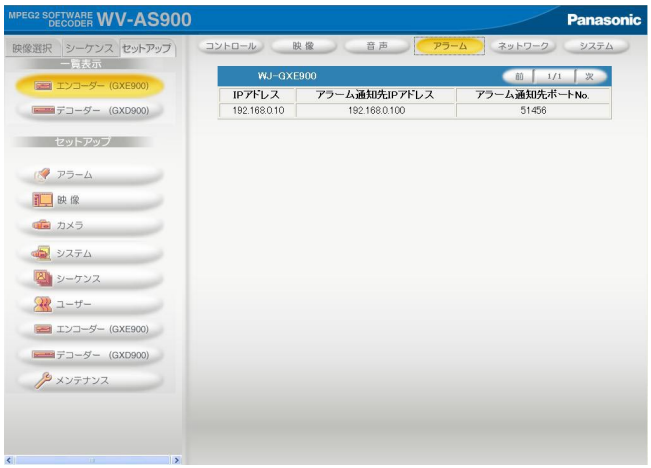


STEP1

サブメニューの［アラーム］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーのアラーム設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

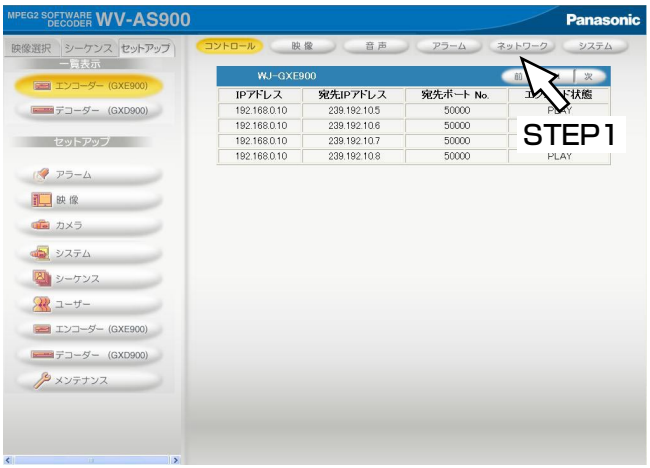
- 設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 「アラーム通知先ポートNo.」は、「51456」に設定してください。これ以外のポートNo.に変更するとアラーム通知を受信できなくなります。

ネットワーク設定ページを確認する

エンコーダーのネットワーク設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

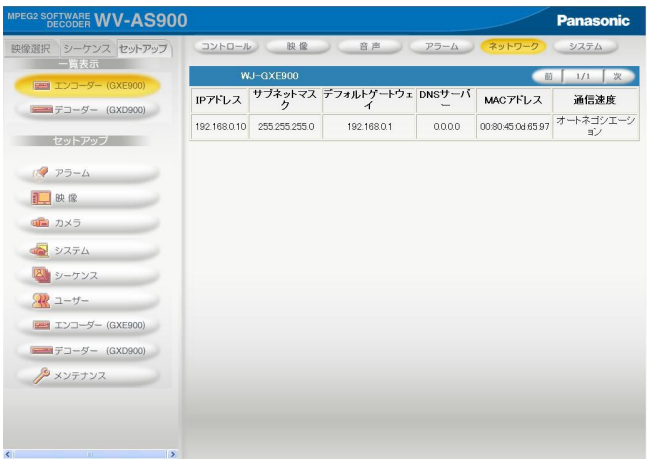


STEP1

サブメニューの［ネットワーク］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーのネットワーク設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

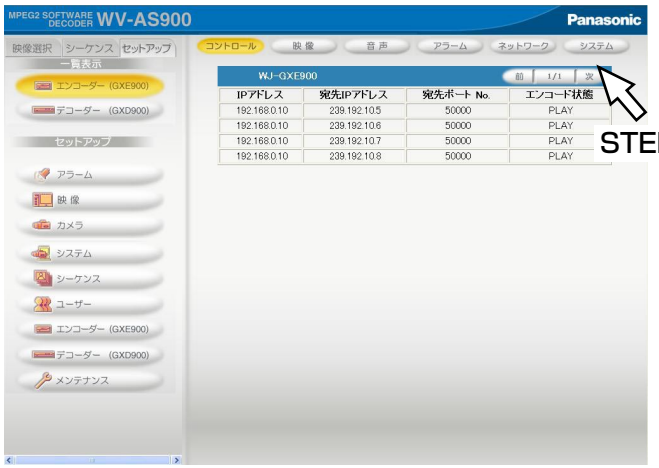
設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

システム設定ページを確認する

エンコーダーのシステム設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［エンコーダー（GXE900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

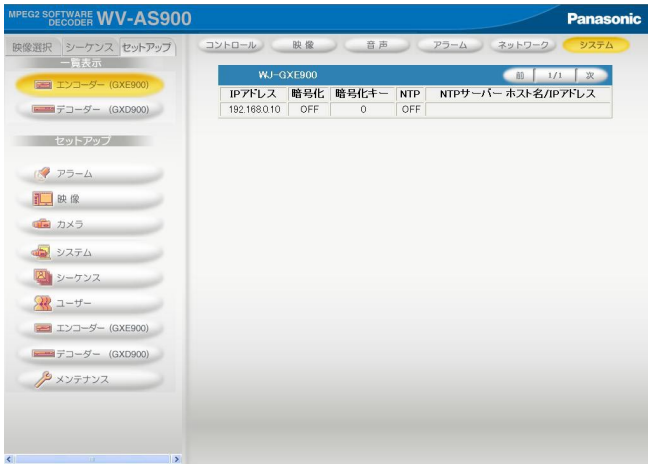


STEP1

サブメニューの［システム］ボタンをクリックします。

画面2

エンコーダーのシステム設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

設定項目や設定値についてはエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

サーバーPCに登録されているデコーダーの設定内容を確認する［デコーダー（GXD900)］

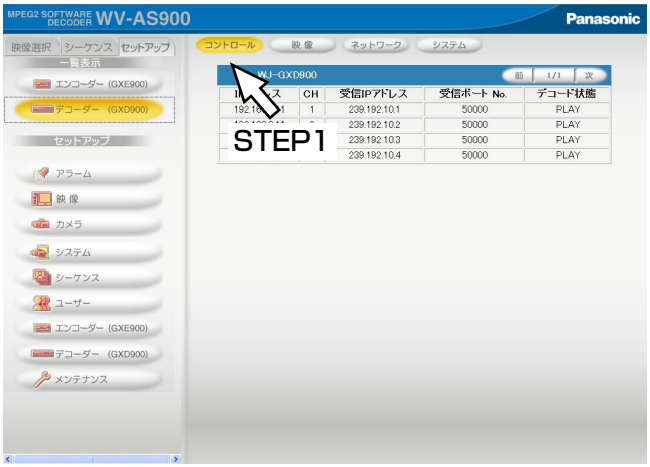
サーバーPCに登録されているデコーダーの設定内容を確認します。ここでは、設定情報の表示のみで、設定内容を変更することはできません。
デコーダーの設定内容の詳細についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

コントロールページを確認する

デコーダーのコントロールページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

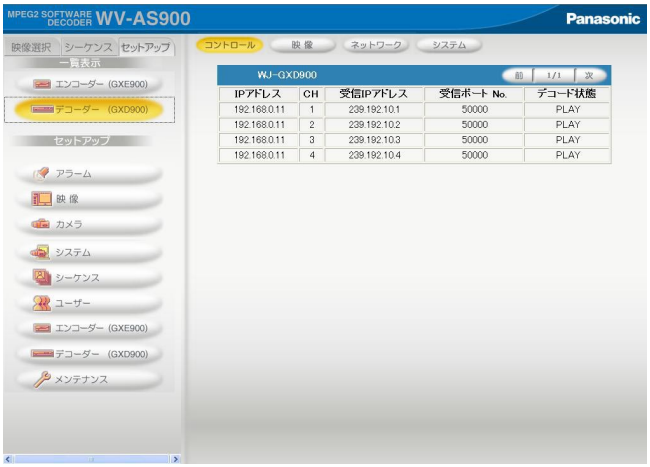


STEP1

サブメニューの［コントロール］ボタンをクリックします。

画面2

デコーダーのコントロールページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

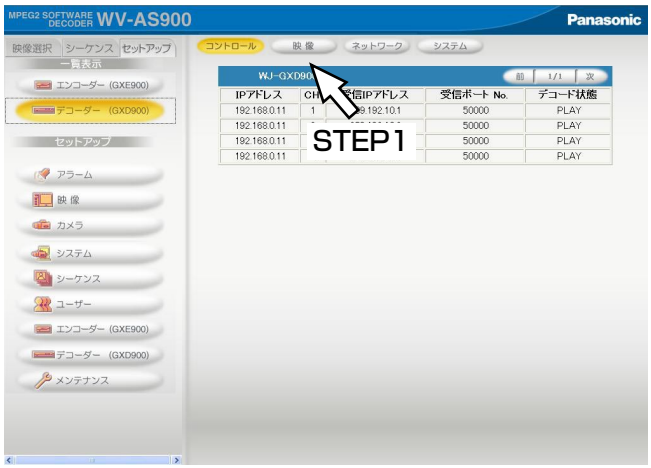
補足
設定項目や設定値についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

映像設定ページを確認する

デコーダーの映像設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

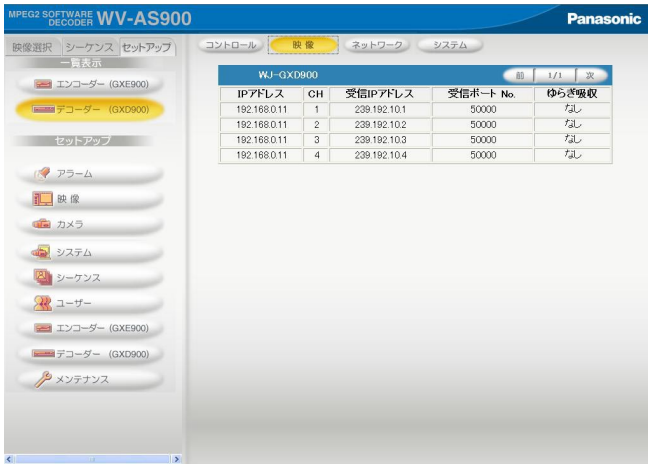


STEP1

サブメニューの［映像］ボタンをクリックします。

画面2

デコーダーの映像設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

設定項目や設定値についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

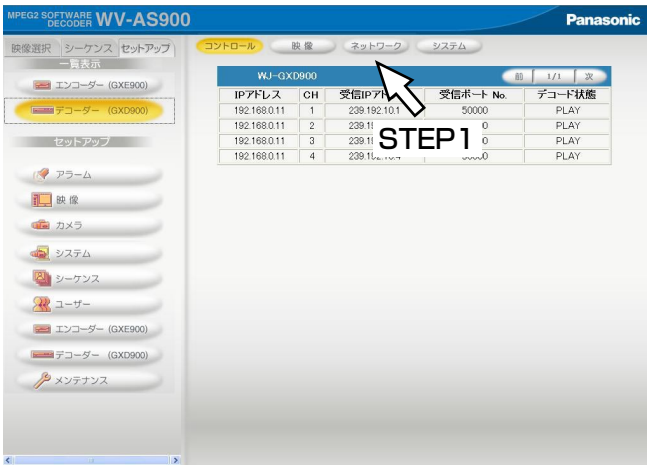
セットアップ

ネットワーク設定ページを確認する

デコーダーのネットワーク設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

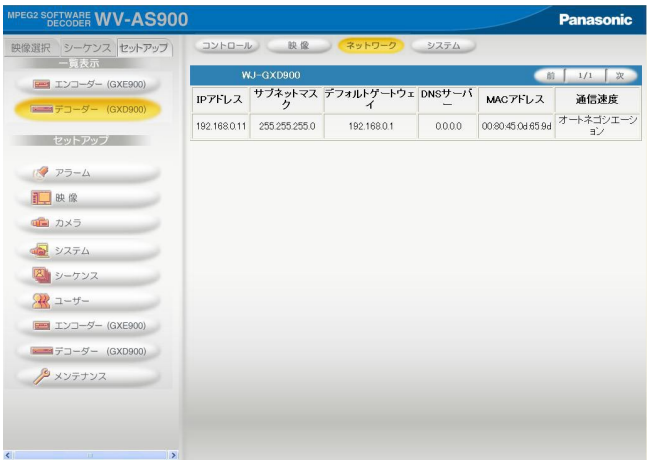


STEP1

サブメニューの［ネットワーク］ボタンをクリックします。

画面2

デコーダーのネットワーク設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

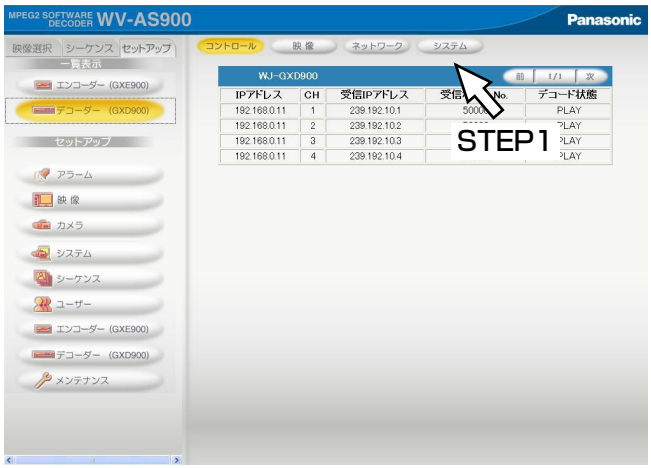
設定項目や設定値についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

システム設定ページを確認する

デコーダーのシステム設定ページの設定内容を確認します。

画面1

［セットアップ］タブの「一覧表示」欄にある［デコーダー（GXD900)］ボタンをクリックし、サブメニューのボタンを表示したところから操作します。

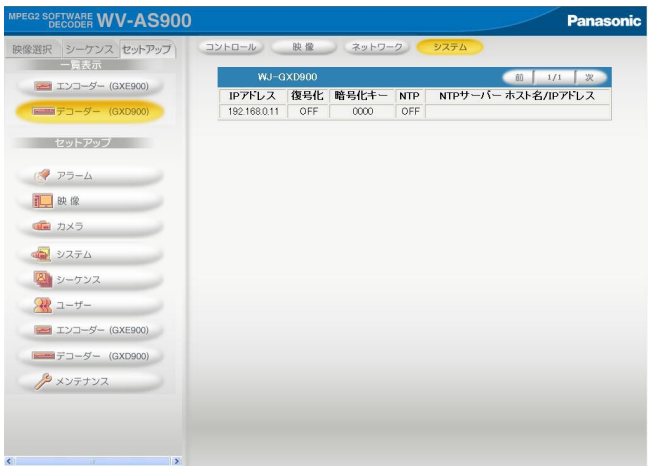


STEP1

サブメニューの［システム］ボタンをクリックします。

画面2

デコーダーのシステム設定ページの設定内容が表示されます。



STEP2

設定内容を確認します。

補足

設定項目や設定値についてはデコーダーの取扱説明書をお読みください。

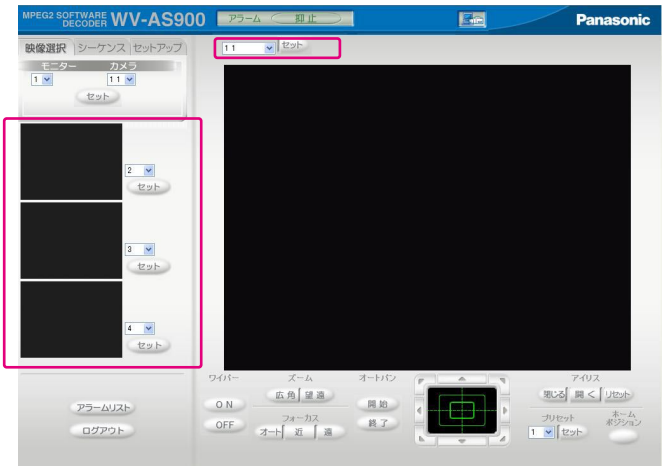
セットアップ

メイン画面・サブ画面のカメラCHを切り換える

メイン画面、サブ画面（1～3）に表示されているカメラ映像を他のカメラCHの映像に切り換えます。

画面1

操作画面のトップページから操作します。トップページの表示のしかたは21ページをお読みください。

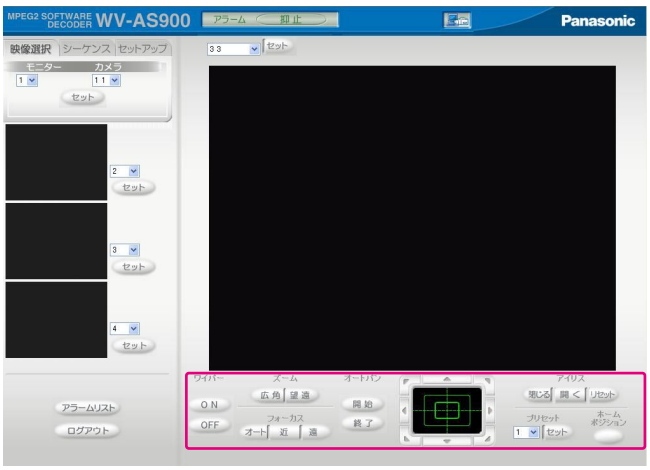


STEP1

メイン画面またはサブ画面（1～3）の［⋁］ボタンをクリックし、表示したいカメラCHを設定し、［セット］ボタンをクリックします。

画面2

選択したカメラの映像が表示されます。



STEP2

カメラ制御部でズームやフォーカス、オートパン、プリセット移動などカメラ映像の制御を行います。メイン画面のカメラ映像を制御しているとき、ステータス表示部に が表示されます。

補足

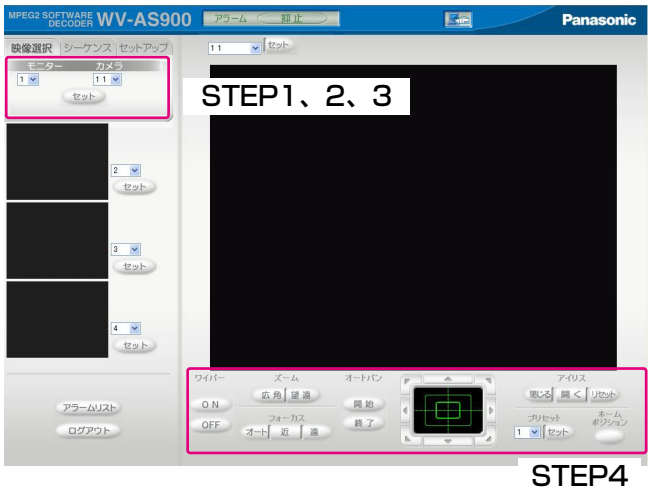
サブ画面に表示されているカメラ映像をダブルクリックするとメイン画面に表示され、メイン画面のカメラ映像と入れ換えることができます。

モニターにカメラ映像を表示する

デコーダーに接続しているモニターにカメラ映像を表示します。

画面1

操作画面のトップページから操作します。トップページの表示のしかたは21ページをお読みください。



STEP1

［映像選択］タブの「モニター」欄にある［⋁］ボタンをクリックし、カメラ映像を表示させたいモニターを選択します。

STEP2

［映像選択］タブの「カメラ」欄にある［⋁］ボタンをクリックし、カメラCHを選択します。

STEP3

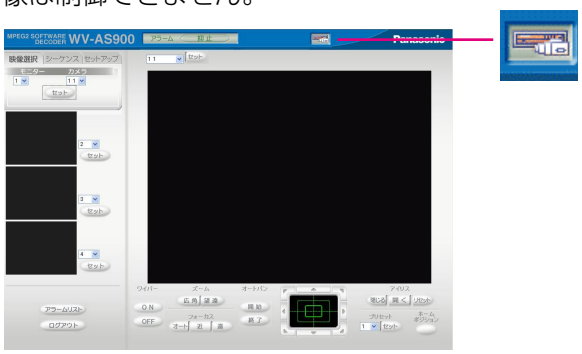
［セット］ボタンをクリックします。

STEP4

カメラ制御部でズームやフォーカス、オートパン、プリセット移動などモニターに表示されたカメラ映像の制御を行うことができます。（☞69～77ページ）

重要！

モニターにカメラ映像を表示した場合、カメラ制御部で操作できる映像はモニターに表示された映像になります。この場合、ステータス表示部にアイコンが表示されます。メイン画面に表示されたカメラ映像は制御できません。



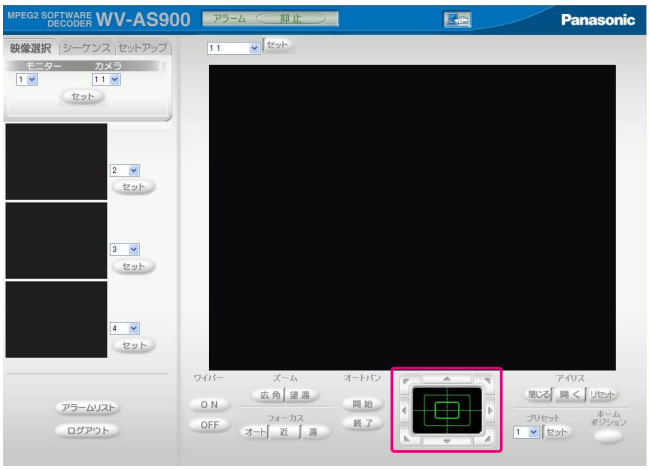
メイン画面に表示されているカメラ映像を制御したい場合は、メイン画面の［セット］ボタンをクリックしてください。

カメラ映像の水平／垂直位置を調節する（パン／チルト）

カメラ映像の水平位置、垂直位置を調節します。操作はコントロールパットとボタンを使って行います。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

以下のいずれかの方法でカメラの水平位置、垂直位置を調節します。

コントロールボタン

：クリックしてカメラの向きを最低速度で調節します。

コントロールパッド

：クリックして、カメラの向きを調節します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。

補足

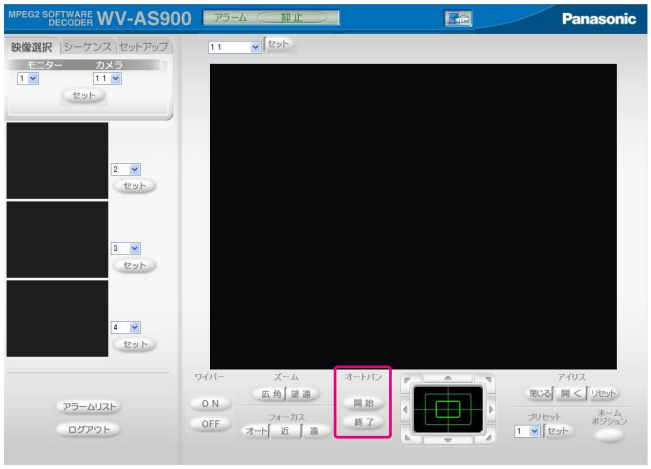
弊社製コンビネーションカメラ（WV-CW860シリーズ、WV-CS850シリーズ、WV-NS320など）のデジタルフリップ機能（WV-NS320ではスワローターン機能）を設定している場合は、デジタルフリップ機能（スワローターン機能）が実行できない場合があります。このような場合、コントロールパッドをクリックし直してください。

カメラを自動的に回転させる（オートパン）

あらかじめ登録されたパンの開始位置から終了位置まで、カメラを自動的に回転させます。オートパンの開始位置、終了位置の設定のしかたはカメラの取扱説明書をお読みください。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

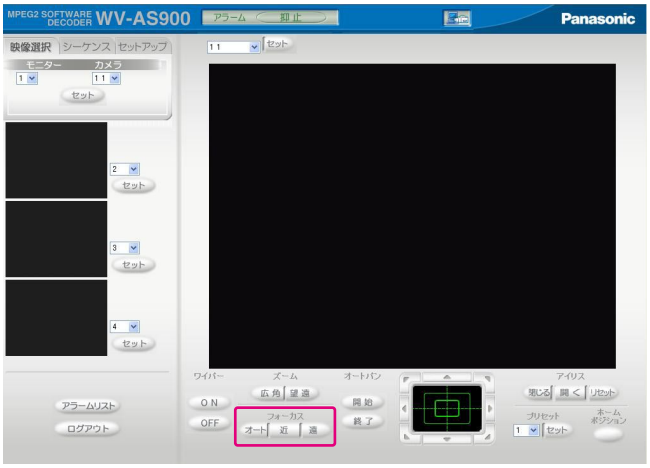
［オートパン］ボックスにある［開始］ボタンをクリックして、オートパンを開始します。
オートパンを終了するときは［終了］ボタンをクリックします。

カメラ映像の焦点を調節する（フォーカス）

カメラ映像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

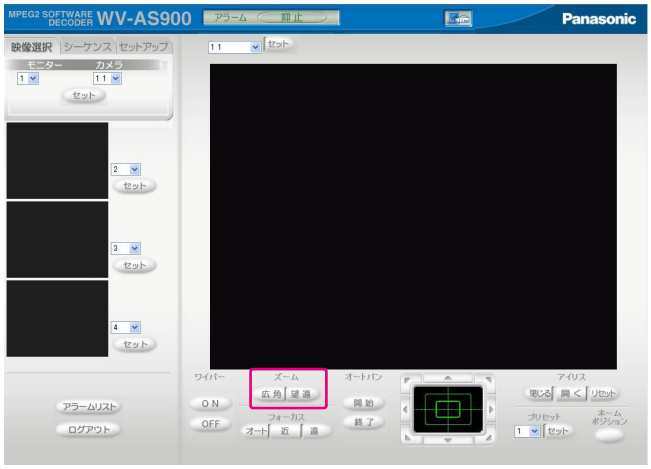
［フォーカス］ボックスにある［近］ボタンまたは［遠］ボタンを押して、カメラ映像の焦点を調節します。
［オート］ボタンをクリックすると、焦点を自動調節できます。

カメラの映像を拡大／縮小表示する（ズーム）

カメラ映像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

［ズーム］ボックスにある［広角］ボタンまたは［望遠］ボタンをクリックして、ズームを調節します。

補足

ズーム速度は2段階あります。［広角］ボタン、［望遠］ボタンの端点をクリックすると、ズーム速度が速くなります。

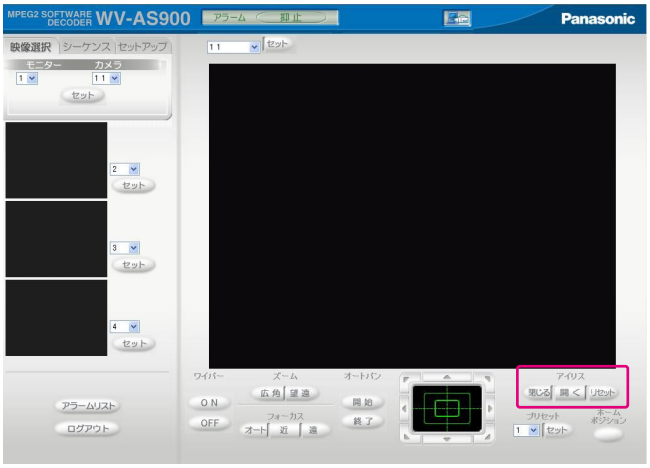
ズーム速度：通常

ズーム速度：高速

レンズの絞りを調節する（アイリス）

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

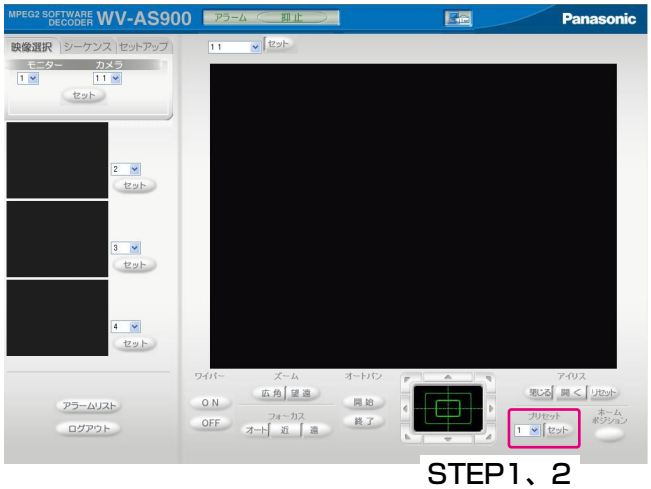
［アイリス］ボックスにある［閉］ボタンまたは［開］ボタンを押して、絞りを調節します。
［リセット］ボタンをクリックすると、アイリスの設定をリセットできます。

カメラの向きをプリセットポジションに移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うにはあらかじめ、カメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。プリセットポジションの登録のしかたについては、39ページをお読みください。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1、2

STEP1

［プリセット］ボックスの［⋁］ボタンをクリックして、プリセット番号（HOME、1～64）を選択します。

STEP2

［セット］ボタンをクリックします。

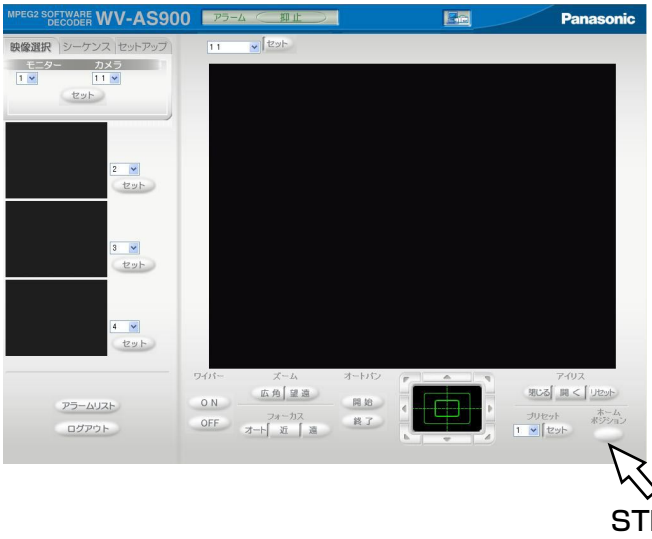
→選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

カメラの向きをホームポジションに移動する

あらかじめ登録されたホームポジションにカメラの向きを移動します。ホームポジションの動作を行うにはあらかじめ、カメラのホームポジションを登録しておく必要があります。ホームポジションの登録のしかたについては、カメラの取扱説明書をお読みください。

画面1

メイン画面に選択したカメラ映像が表示された状態で操作します。（☞67ページ）



STEP1

［ホームポジション］ボックスのボタンをクリックします。

→登録されているホームポジションへカメラの向きが移動します。

カメラの映像を自動的に切り換える（シーケンス）

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。
あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。シーケンス動作の設定のしかたについては42ページをお読みください。

画面1

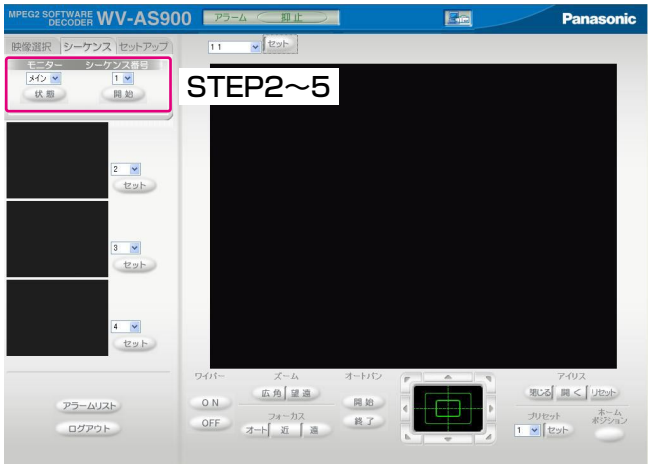
操作画面のトップページから操作します。トップページの表示のしかたは67ページをお読みください。

STEP1

［シーケンス］タブをクリックします。

画面2

［シーケンス］タブが表示されます。



STEP2

「シーケンス番号」欄の［⋁］ボタンをクリックして動作させたいシーケンス番号を設定します。

STEP3

「モニター」欄の［⋁］ボタンをクリックして表示させたいモニターまたは画面を設定します。

STEP4

［開始］ボタンをクリックします。
→シーケンス動作が開始されます。

STEP5

シーケンス動作を終了するときは、［状態］ボタンをクリックします。

画面3

「モニター状態」ウィンドウが表示されます。

STEP6

終了させたいシーケンス番号の［停止］ボタンをクリックします。

設定されているシーケンス動作の内容を確認するには

［シーケンス］タブの［状態］ボタンをクリックして「モニター状態」ウィンドウを表示し、シーケンスの一覧を確認できます。［更新］ボタンをクリックすると、表示内容を最新の内容に更新します。

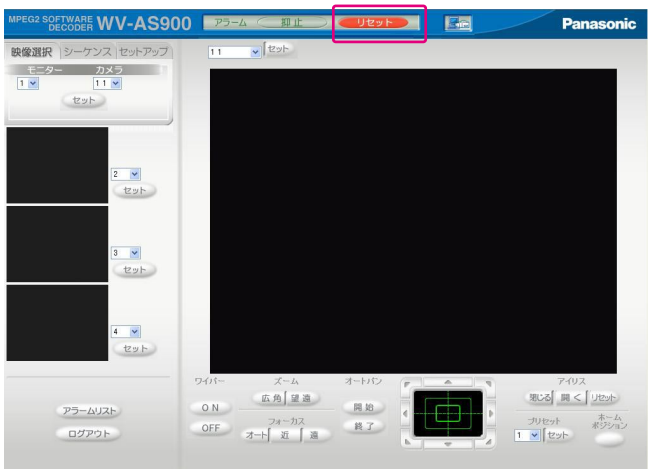
補足

- 「モニター状態」ウィンドウを開く際に、シーケンスの切り換え時間が設定時間どおりに切り換わらない場合があります。
- シーケンス切り換え中はカメラ制御の動作が鈍くなる場合があります。

アラーム発生時の動作について

エンコーダーからアラーム通知を受信した場合、ソフトデコーダーでは以下のような動作を行います。

○画面のステータス表示部に［リセット］ボタンを表示し、アラームが発生したことを知らせます。
ログインしているすべてのクライアントPCの画面に［リセット］ボタンが表示されます。



○アラーム設定（☞32ページ）で設定したモニターまたはメイン画面のカメラ映像がアラーム発生場所のカメラ映像に切り換わります。

重要！
セットアップメニュー（☞29ページ）を表示しているときは、メイン画面はアラーム発生場所の映像に切り換わりません。

アラーム動作を解除する

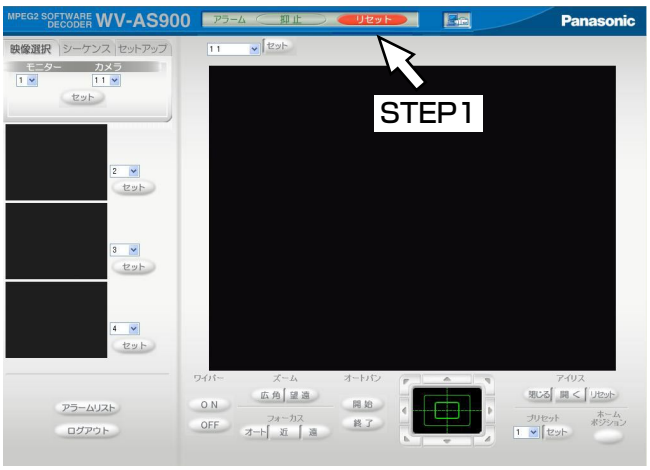
アラーム動作を手動で解除したい場合は、以下の動作を行います。いずれかのクライアントPCでアラームが解除されると、すべてのクライアントPCのアラーム動作が解除されます。

補足

セットアップメニューの［アラーム］にある「リセット・日時」でアラームの解除方法を「自動」に設定している場合、設定した時間が経過すると、自動的にアラームを解除します。（☞34ページ）

画面1

エンコーダーからアラーム通知を受信すると、ステータス表示部に［リセット］ボタンが表示されます。



STEP1

ステータス表示部の［リセット］ボタンをクリックします。

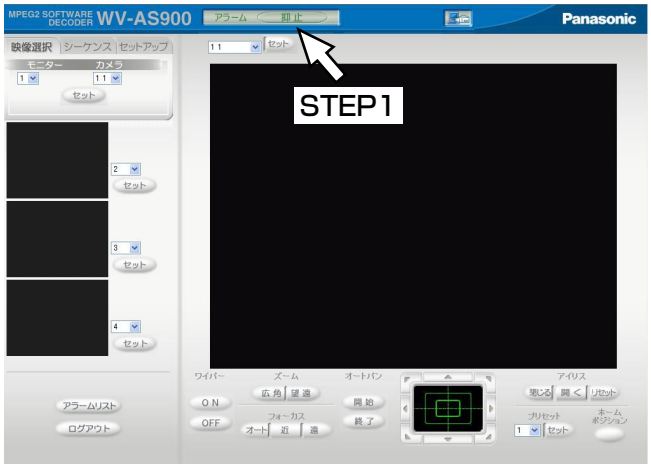
→アラーム動作が解除されます。アラーム動作が解除されると、［リセット］ボタンは消去し、メイン画面やモニターの映像はアラーム発生前に表示されていたカメラ映像に戻ります。

アラーム動作を抑止する

エンコーダーからアラーム通知を受信してもアラーム動作を行わないように設定します。一定期間アラーム動作を行わないようにしたいときに設定します。
ただし、アラーム動作を抑止しても、アラームログへの記録は行われます。
いずれかのクライアントPCでアラーム動作が抑止されると、すべてのクライアントPCへのアラーム通知が抑止されます。

画面1

どの画面からでも操作できます。

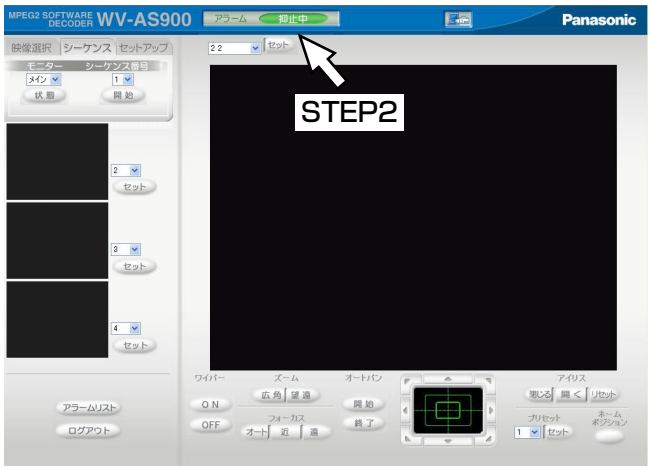


STEP1

ステータス表示部の［抑止］ボタンをクリックします。

画面2

［抑止］ボタンが緑色の［抑止中］ボタンに切り換わり、アラーム動作が抑止されます。



STEP2

アラーム抑止を解除する場合は、［抑止中］ボタンをクリックします。

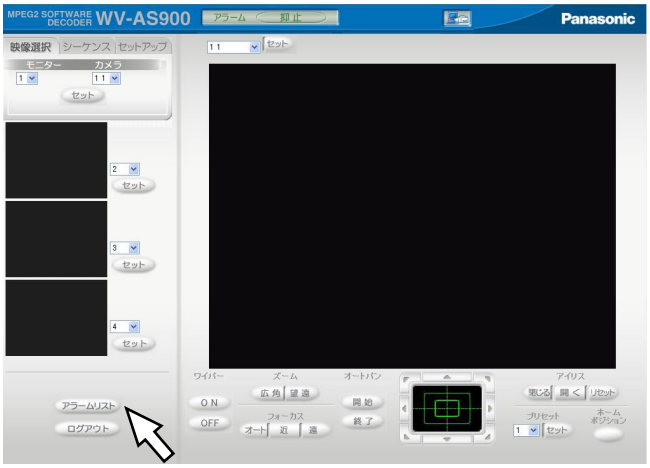
アラームの履歴を確認する

エンコーダーで発生したアラームの履歴を表示します。ログは別のウィンドウに一覧で表示されます。アラームの履歴として、アラームの発生した日時、アラームの種別、アラームを通知したエンコーダーのIPアドレス、カメラCHを確認できます。
アラームの履歴は1000件まで記録され、アラームNo.1000が最も新しいアラーム履歴として記録され、アラームNo.1が最も古いアラーム履歴になります。
1画面に20件ずつ表示されます。アラーム件数が1000件を超えると、古いアラーム履歴から順に削除されます。

補足
アラーム履歴にはサーバーPCに通知されたすべてのアラームが記録されます。

画面1

［映像選択］タブ、［シーケンス］タブが表示されている状態で操作します。



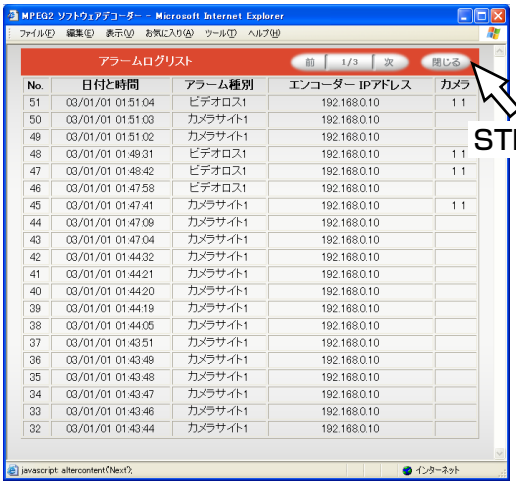
STEP1

STEP1

［アラームリスト］ボタンをクリックします。

画面2

「アラームログリスト」画面が別ウィンドウで表示されます。



STEP3

STEP2

アラームの履歴を確認します。履歴は1画面に20件ずつ表示されます。21件目以降のアラーム履歴を見たい場合は、［次］ボタンをクリックします。前の履歴画面に戻りたいときは［前］ボタンをクリックします。

STEP3

「アラームログリスト」画面を閉じるときは［閉じる］ボタンをクリックします。

エラーメッセージ一覧

インストール時

メッセージ内容	原因
インストールが完了しませんでした。セットアップを終了するとアプリケーションはインストールされません。インストールを完了するために、あとでセットアッププログラムを実行することができます。インストールを続けるには継続を、終了するには終了をクリックしてください。	キャンセルボタンをクリックしたとき
データパッケージがありません。	data.cabファイルが見つからないとき
ソフトウェアデコーダーサーバーのインストールにはIISが必要です。先にIISをインストールしてください。	サーバープログラムをインストールするときにIISがインストールされていないとき
シリアル番号が正しくありません。	シリアル番号が間違っているとき
インストール先ディレクトリ＊＊＊＊がありません。先にIISをインストールしてください。	インストール先のディレクトリが存在しないとき
インストール後にcgi-binディレクトリに実行特権のための"スクリプトと実行"を設定してください。	cgi-binディレクトリの実行アクセス権が"スクリプトのみ"のとき
「プラグインDLLがすでにあります。インストールは完了しません。既存のプラグインDLLを削除して、再度インストールをしてください。	クライアントプログラムをインストールする際にsoftViewerplugin.dllが既に存在しているとき
エラー = nn（番号） すべての実行中のアプリケーションを終了して、再度インストールしてください。	インストール中にエラーが発生して正常にインストールできないとき
サービス アラームの開始に失敗しました。	アラームサービスの開始に失敗したとき
サービス コネクションの開始に失敗しました。	コネクションサービスの開始に失敗したとき
アラームサービスのインストールに失敗しました。	アラームサービスのインストールが出来なかったとき
コネクションサービスのインストール失敗	コネクションサービスのインストールが出来なかったとき
アラームサービスのオープンに失敗しました。	ー
アラームサービスの停止に失敗しました。	アンインストールの際にアラームサービスを停止出来なかったとき
コネクションサービスのオープンに失敗しました。	ー
コネクションサービスの停止に失敗しました。	アンインストールの際にコネクションサービスを停止出来なかったとき
プラグインの登録に失敗しました。	クライアントプログラムをインストールする際にIEとの関連付けが出来なかったとき
プラグインの登録削除に失敗しました。	アンインストールの際にIEとの関連付けを削除できなかったとき

セットアップメニュー（共通）

メッセージ内容	原因
データーベースアクセス中にエラーが発生しました。少し後で再度実行してください。	データベースのアクセスに障害が発生したとき
データベース更新中にエラーが発生しました。正しい値を設定してください。	データベースのアクセスに障害が発生したとき
設定を元に戻しますか？	リセットボタンをクリックしたとき

セットアップメニュー（アラーム）

メッセージ内容	原因
すでに128件登録済みです。	アラーム登録件数が128件をこえたとき

セットアップメニュー（システム）

メッセージ内容	原因
カメラを65台以上設定する事は出来ません。	選択したカメラが65台以上になったとき
モニター No.が数値ではありません。	モニターNo.に数字以外を入力したとき
入力値が範囲外です。	モニターNo.に1～32以外の数字を入力したとき
入力値が重複しています。	モニターNo.が重複しているとき
モニターが削除できません。削除の前にモニターで実行しているシーケンスを停止してください。	シーケンス切換を実行中のモニターを削除しようとしたとき

セットアップメニュー（シーケンス）

メッセージ内容	原因
少なくとも1ステップはカメラと時間を選択してください。	ステップが未設定のまま設定ボタンをクリックしたとき
nn（番号）ステップ：ステップ間に空のステップが存在します。	nn（番号）ステップが設定されているが、それよりも前のステップに未設定のステップがあるとき
nn（番号）ステップ：カメラを選択するか、切り換え時間を空欄にしてください。	nn（番号）ステップでカメラが選択されていないのに、切り換え時間が設定されているとき
nn（番号）ステップ：切り換え時間を設定するか、カメラを選択しないにしてください。	nn（番号）ステップで切り換え時間が設定されていないとき

セットアップメニュー（ユーザー）

メッセージ内容	原因
adminユーザーのアクセスレベルは変更できません。	adminアカウントのアクセスレベルを変更したとき
パスワードが正しくありません。再度入力してください。	パスワード入力とパスワード再入力が違うとき
ユーザーが16人登録されています。	16アカウント以上登録したとき

エラーメッセージ一覧（つづき）

セットアップメニュー（エンコーダー）

メッセージ内容	原因
エンコーダーと接続できませんでした。	指定されたエンコーダーが電源オフまたはネットワークから切り離されているとき
IPアドレスを入力してください。	IPアドレスの欄が空白のとき
正しいIPアドレスを入力してください。	255以上の数字または、数字以外を入力したとき
すべてのエンコーダーが削除されました。	削除できるエンコーダーが無いときに削除ボタンをクリックしたとき
エンコーダーを削除してもよいですか：	削除の確認

セットアップメニュー（デコーダー）

メッセージ内容	原因
デコーダーと接続できませんでした。	指定されたデコーダーが電源オフまたはネットワークから切り離されているとき
IPアドレスを入力してください。	IPアドレスの欄が空白のとき
正しいIPアドレスを入力してください	255以上の数字または、数字以外を入力したとき
すべてのデコーダーが削除されました。	削除できるデコーダーが無いときに削除ボタンをクリックしたとき
デコーダーを削除してもよいですか：	削除の確認

セットアップメニュー（メンテナンス）

メッセージ内容	原因
アラーム通知先設定が、すべてのエンコーダーで統一されていません。再度設定しなおしてください。	エンコーダーに設定されているアラーム通知先IPアドレスが1つでないとき
カメラ番号、タイトルが設定されていないエンコーダーがあります。設定してください。	エンコーダーに登録されているカメラNo.カメラタイトルに空欄があるとき

ログイン時

メッセージ内容	原因
失敗　ー　ログイン	3回パスワードを間違えたとき
接続切れ - 再ログイン	サーバーから切断されたとき

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
・ネットワークに関するトラブル		
サーバーPCにアクセスできない	・ネットワークケーブルは、イーサネットI/Fに正しく接続されていますか? カチッと音がするまで確実に差し込んでください。	–
	・ケーブルの仕様(ストレートかクロス)は正しいですか? ハブ・端末装置間はストレートケーブルを使ってください。また、ハブ同士の間はクロスケーブルを使ってください。カスケードポートを持つハブをご使用の場合は、ハブの取扱説明書をご確認ください。	–
	・コネクタ内のピンが接触またはショートしていませんか? ピンを確認してください。	–
	・1セグメントのケーブル長が規定範囲を超えていませんか? ネットワークケーブルは通信速度に適合するものを使用し、100m以内としてください。	–
・ブラウザーからサーバーPCにアクセスできない		
同じサブネット(ネットワーク)内にエンコーダーとデコーダーが接続されている場合	・サブネットマスクは、サーバーPCとクライアントPCで同じ値が設定されていますか? 同じネットワークに機器が接続されている場合は、「サブネットマスク」を共通のものに設定する必要があります(例えば「255.255.255.0」)。 ・異なるネットワークの場合はネットワーク管理者に確認し、設定し直してください。	10

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
IPアドレスは正しく設定されていますか?	・「アドレス設定」は正しいものが設定されていますか? プライベートアドレスの場合は「10.0.0.0～10.255.255.255」、「172.16.0.0～172.31.255.255」、「192.168.0.0～192.168.255.255」の範囲内にしてください。 グローバルアドレスの場合は、ネットワーク管理者から使用可能なIPアドレスを取得してください。	10
	・設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか? 相手側IPアドレスを確認してください。	10
	・間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか? ・同じサブネット(ネットワーク)内に自局と相手側が接続されている場合、共通の「サブネット」に設定されていますか? 3ページに記載のOSに対応しているパソコンでpingコマンドで通信確認を行ってください。応答があれば「ハードウェア」と「プロトコル」と「ネットワーク」は正常です。応答がない場合は、「サブネット」や「デフォルトゲートウェイ」を確認し、再度アドレス設定を行ってください。 <コマンド例> C:￥Windows>ping (エンコーダー/デコーダーのIPアドレス)	–
・映像関連のトラブル		
映像遅延が通常よりも多く発生する	・ネットワークパフォーマンスよりも多いパケットデータの通信が行われていませんか? LANアナライザーで、トラフィックやパケット量の確認してください。詳しくは、ネットワーク技術者や管理者にご相談ください。	–
映像が動かなくなる(静止画になる)	・ネットワークに一時的な障害(ネットワークの切断やケーブルが外れている)が発生していませんか? 一時的な障害の場合には自動的に復帰します。障害の状態によっては通信が切断される場合があります。再度、接続し直してください。 現象が頻繁に発生する場合は、ネットワークへの接続を見直してください。	–
エンコーダーのSTATUS1～4が点滅状態で、映像が表示されない	・選択したVIDEO INにカメラが正しく接続されていますか? エンコーダー本体のVIDEO INとカメラが正しく接続されているか確認してください。	–

その他

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
エンコーダーのSTATUS1～4が点灯し、デコーダーのSTATUS1～4LEDが点滅状態で、映像が表示されない	・デコーダーの映像･音声ストリームを受信するIPアドレスまたはポートNo.が異なっていませんか? エンコーダーの映像設定ページで宛先IPアドレスとポートNo.を確認し、デコーダー設定ページの受信IPアドレスとポートNo.に同じ値を入力してください。一時的に確認したい場合は、デコーダー制御/状態画面で値を入力し、STARTボタンを押してください。	58
エンコーダーのSTATUS1～4が消灯している	・エンコード状態が停止している可能性があります。コントロールページで状態を確認してください。STOP状態の場合は、STARTボタンを押してください。	57
デコーダーのSTATUS1～4が消灯状態で、映像が表示されない	・デコード状態が停止している可能性があります。デコーダー制御/状態画面で状態を確認してください。STOP状態の場合は、STARTボタンを押してください。	63
エンコーダーのSTATUS1～4が点灯し、デコーダーのSTATUSが点灯状態で、映像が表示されない	・モニターは正しく接続されていますか デコーダー本体のVIDEO OUTとモニターが正しく接続されているか確認してください。	–
映像が正常に表示されない	・電源アース、筐体アース、ケーブルシールドの不良によるノイズの影響はありませんか? アースやシールド(STPケーブルなど)を使用していない場合は、ノイズの影響を受けやすくなります。アース対策やシールドケーブルを使用してください。	–
	・高周波ノイズを受けやすい場所に設置していませんか? 蛍光灯、トランス、CRTモニタなどの高周波ノイズを受けやすい場所に設置している場合は、ノイズの影響を受けることがあります。それらの機器と極力離して設置するようにしてください。	–
	・電源ケーブルなどの強電圧と並行にケーブルを配線していませんか? 電源ケーブルなど強電圧系統と並行(10 cm以内)に設置している場合は、ノイズの影響を受けやすいです。電源ケーブル等と10 cm以上の距離を離して設置するか、または別配管としてください。	–

症　状	原　因　・　対　策	
映像が乱れる(画像が崩れる、フレームレートが落ちる)	・ネットワークに一時的な障害(ネットワークの切断やケーブルが外れている)が発生していませんか? 一時的な障害の場合には自動的に復帰しますが、障害の状態によっては通信が切断される場合があります。再度、接続し直してください 現象が頻繁に発生する場合は、ネットワークへの接続を見直してください。	−
	・ネットワーク上で遅延が発生している可能性があります。 デコーダーの映像設定ページのゆらぎ設定を適切な値に変更してください。	64

Panasonic MPEG2ソフトウェアデコーダー WV-AS900 取扱説明書

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-410（パナハヨイワ）　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WV-AS900
	販売店名	電話（　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社
〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

© Panasonic Corporation 2008

3TR002027DAB
N0204-3108